



令和7年度 宮城県循環器病対策推進協議会

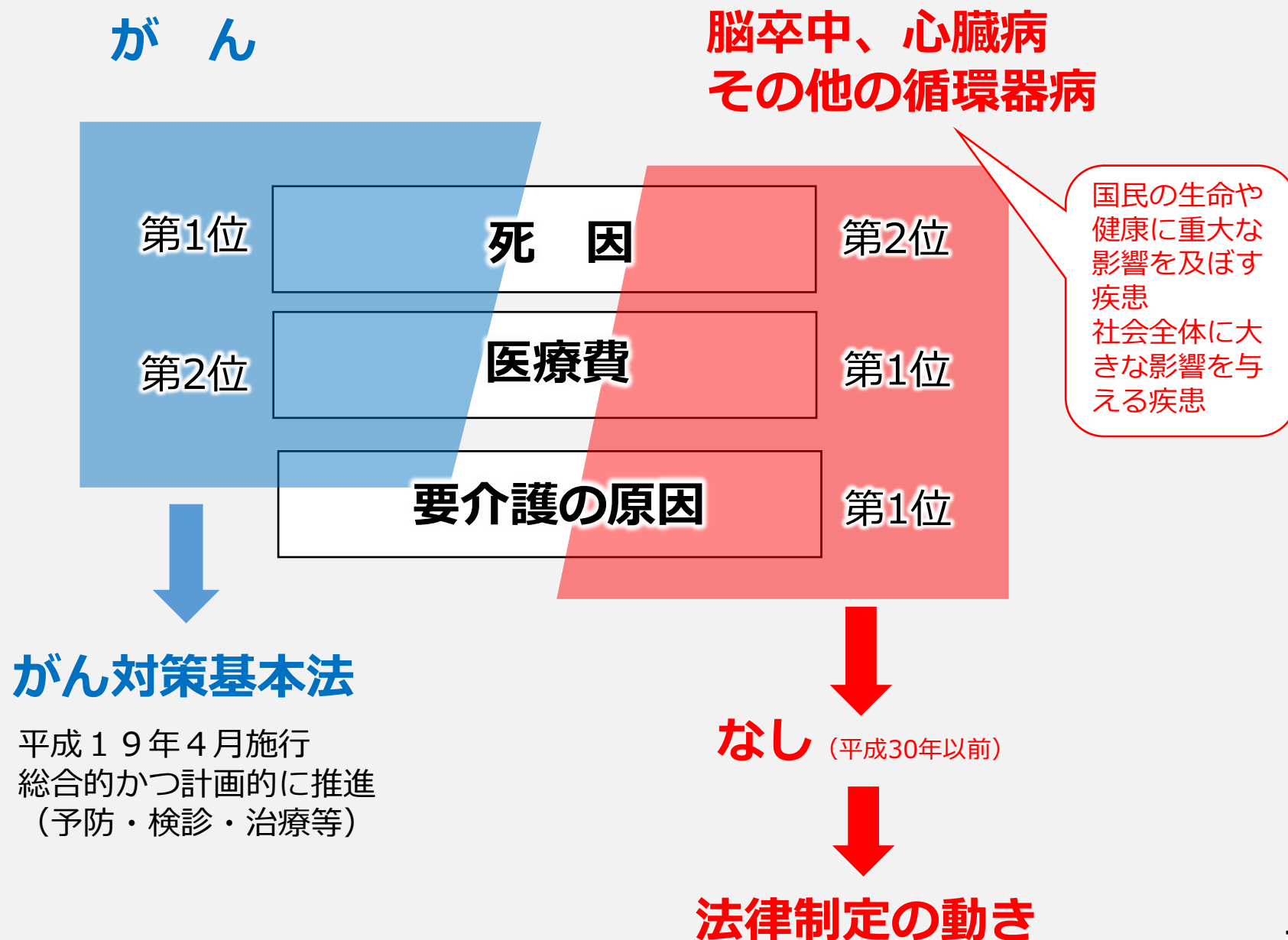
第2期宮城県循環器病対策推進計画

— 循環器病等の現況値について —



宮城県保健福祉部健康推進課

循環器病対策の法律ができた背景



循環器病対策推進計画とは？

2018（H30）年

健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病
その他の循環器病に係る対策に関する基本法

循環器病対策推進基本計画

↑ 循環器病対策の基本的方向について定める（具体的な内容）
都道府県がん対策推進計画の基本となる

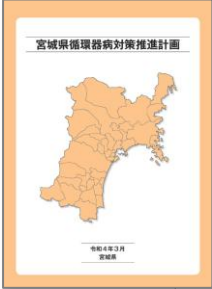


基本法第11条 「都道府県循環器病対策推進計画」の策定

宮城県循環器病対策推進計画

本県の循環器病対策を総合的かつ計画的に推進

循環器病対策推進計画の改正経緯（現在２期目）

	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
国	健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法 成立	施行	第1期循環器病対策推進基本計画			第2期循環器病対策推進基本計画						
宮城県	第1期計画表紙 	第2期計画表紙 		宮城県循環器病対策推進計画策定懇話会	第1期宮城県循環器病対策推進計画	宮城県循環器病対策推進計画策定懇話会	第2期宮城県循環器病対策推進計画	宮城県循環器病対策推進協議会	宮城県循環器病対策推進協議会	宮城県循環器病対策推進協議会	宮城県循環器病対策推進協議会	宮城県循環器病対策推進協議会

第2期宮城県循環器病対策推進計画のイメージ

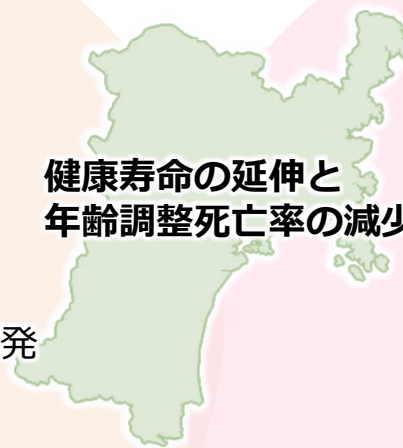
宮城県循環器病対策推進計画

循環器病の予防や正しい知識の普及啓発



- 栄養・食生活
- 身体活動・運動
- 喫煙
- 糖尿病重症化予防
- 正しい知識の普及啓発など

健康寿命の延伸と
年齢調整死亡率の減少

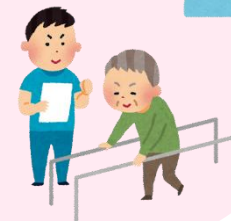


保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- 健診
- 救急搬送体制
- 医療提供体制
- リハビリテーション
- 後遺症・緩和ケア
- 治療と仕事の両立
- 相談支援など



宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センター



各個別計画と連携

みやぎ21健康プラン

宮城県食育推進プラン

宮城県地域医療計画

みやぎ高齢者元気プラン

宮城県がん対策推進計画

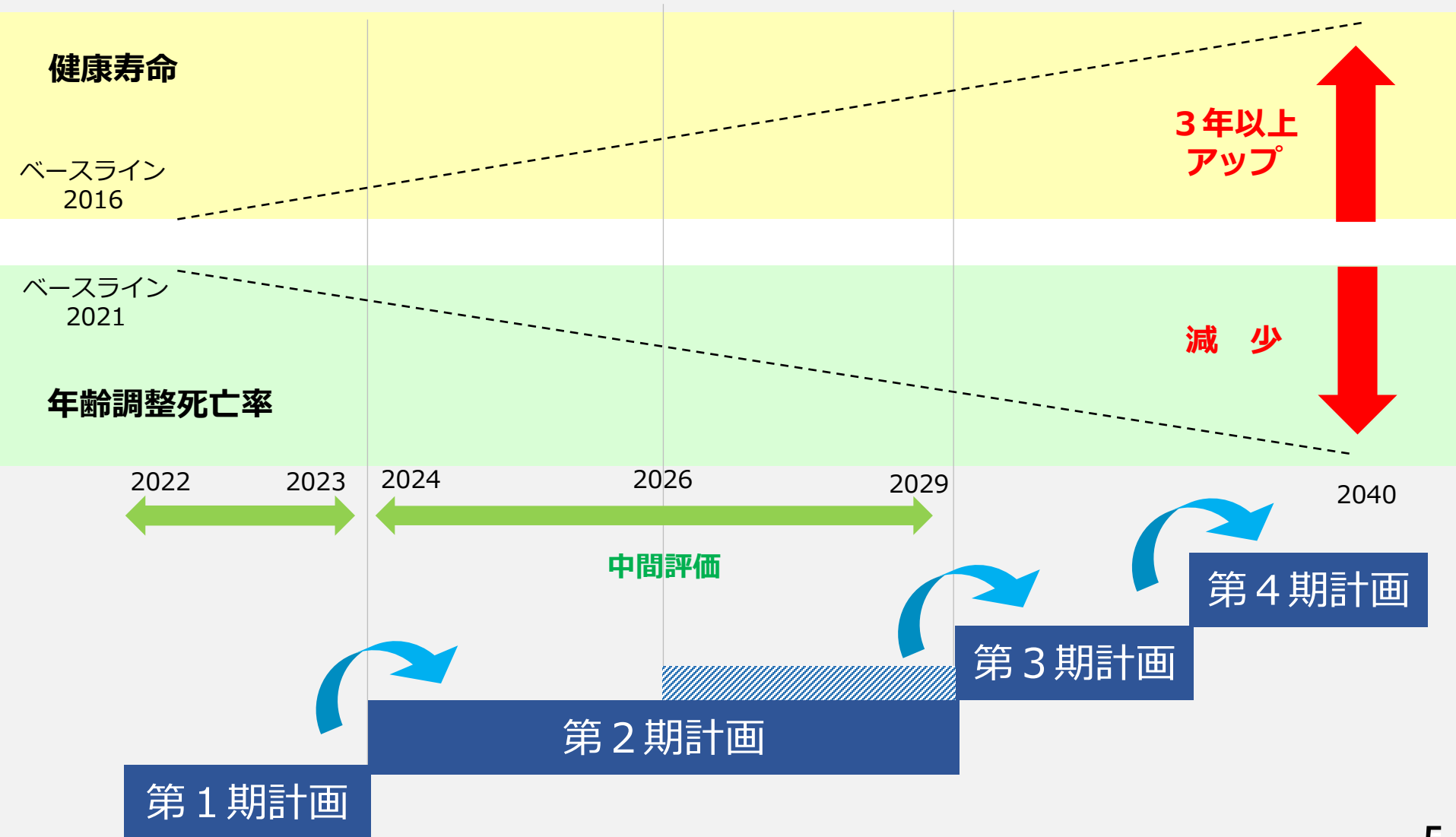
宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画

救急搬送実施基準

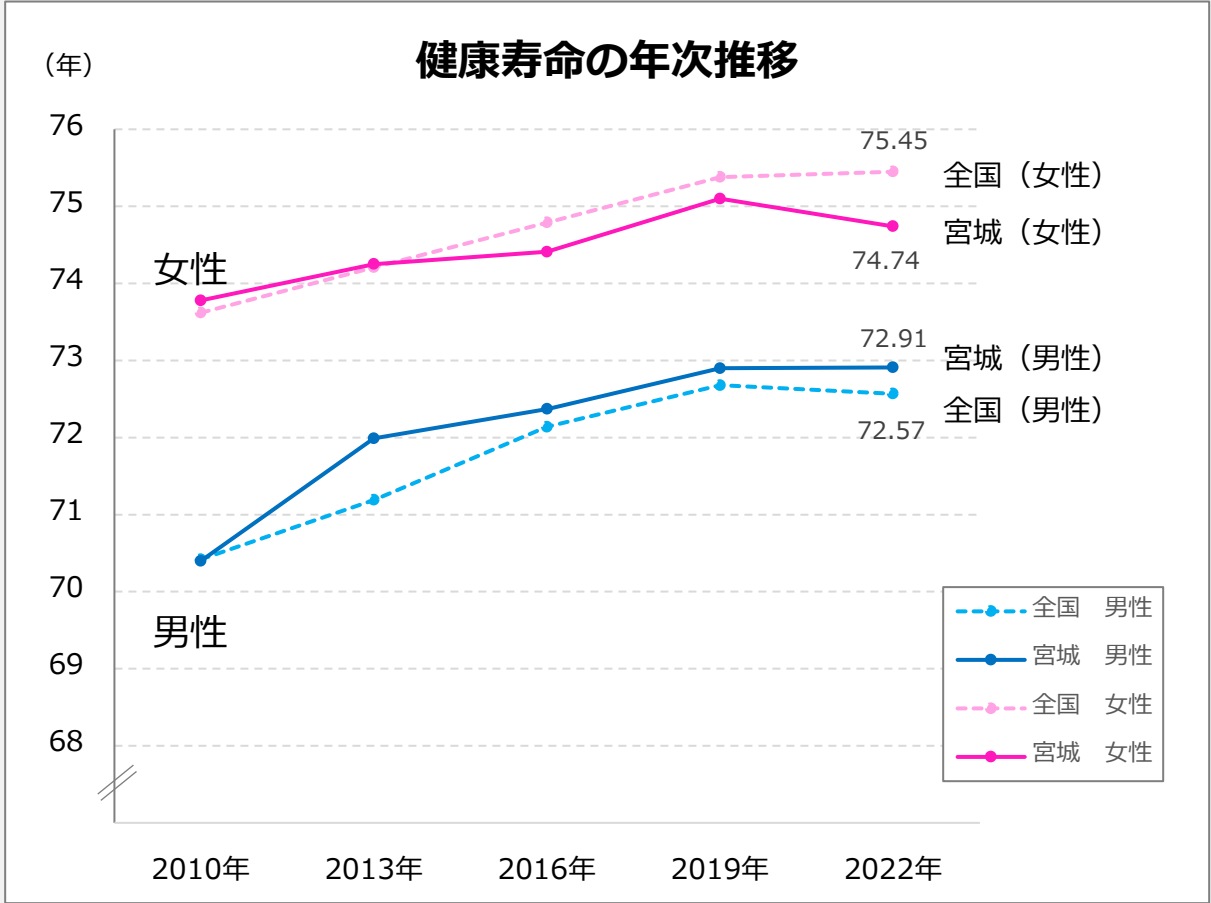
みやぎ障害者プラン

全体目標の達成までと計画の関係（イメージ）

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病（脳血管疾患・心疾患）の年齢調整死亡率の減少



健康寿命の年次推移（全国・宮城県）



健康寿命（年）		2010年 (H22)	2013年 (H25)	2016年 (H28)	2019年 (R1)	2022年 (R4)
全国	男性	70.42	71.19	72.14	72.68	72.57
	女性	73.62	74.21	74.79	75.38	75.45
宮城県	男性	70.40	71.99	72.37	72.90	72.91
	女性	73.78	74.25	74.41	75.10	74.74

ベースライン

現況値

健康寿命

ある健康状態で生活することが期待される平均期間を表す指標

基礎資料：

死亡率は人口動態統計の死亡。
不健康割合は国民生活基礎調査の「あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか」への回答。

2022（R4）年：全国値

男性



女性

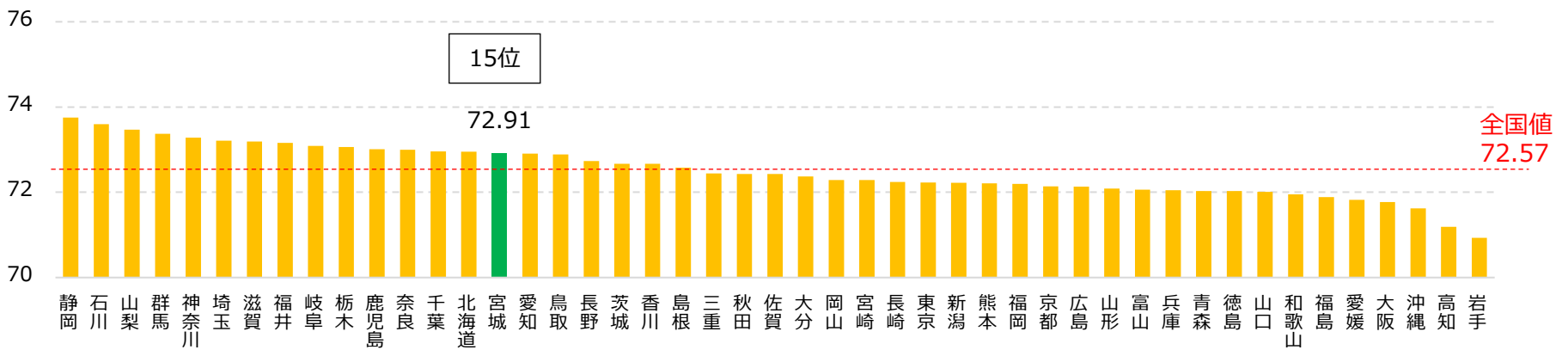


【目標】

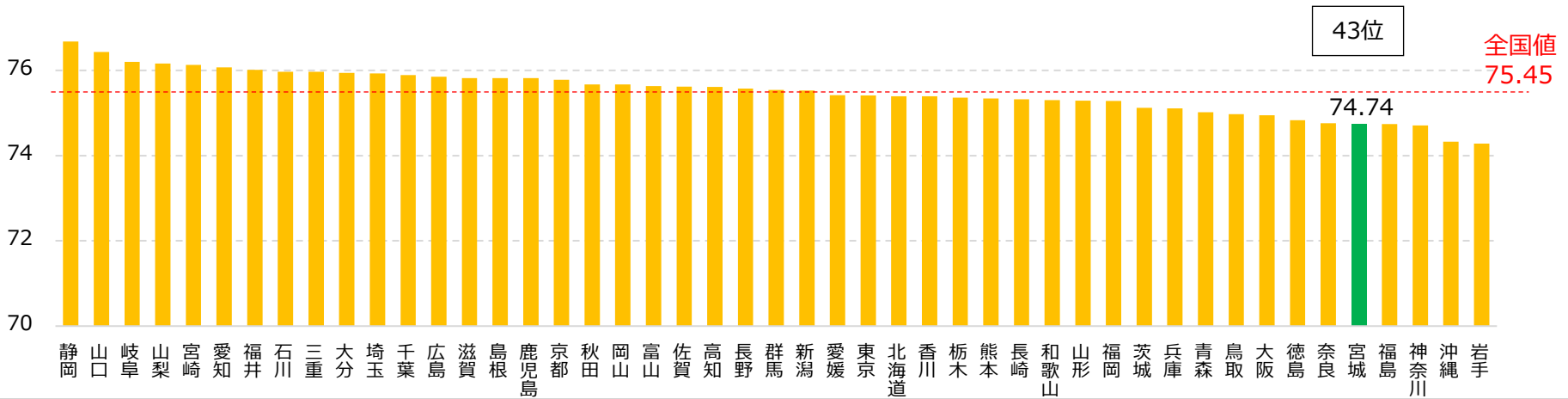
2040（R22）年まで3年以上の
健康寿命の延伸

健康寿命の都道府県順位 (2022 (R4) 年)

健康寿命 男



健康寿命 女

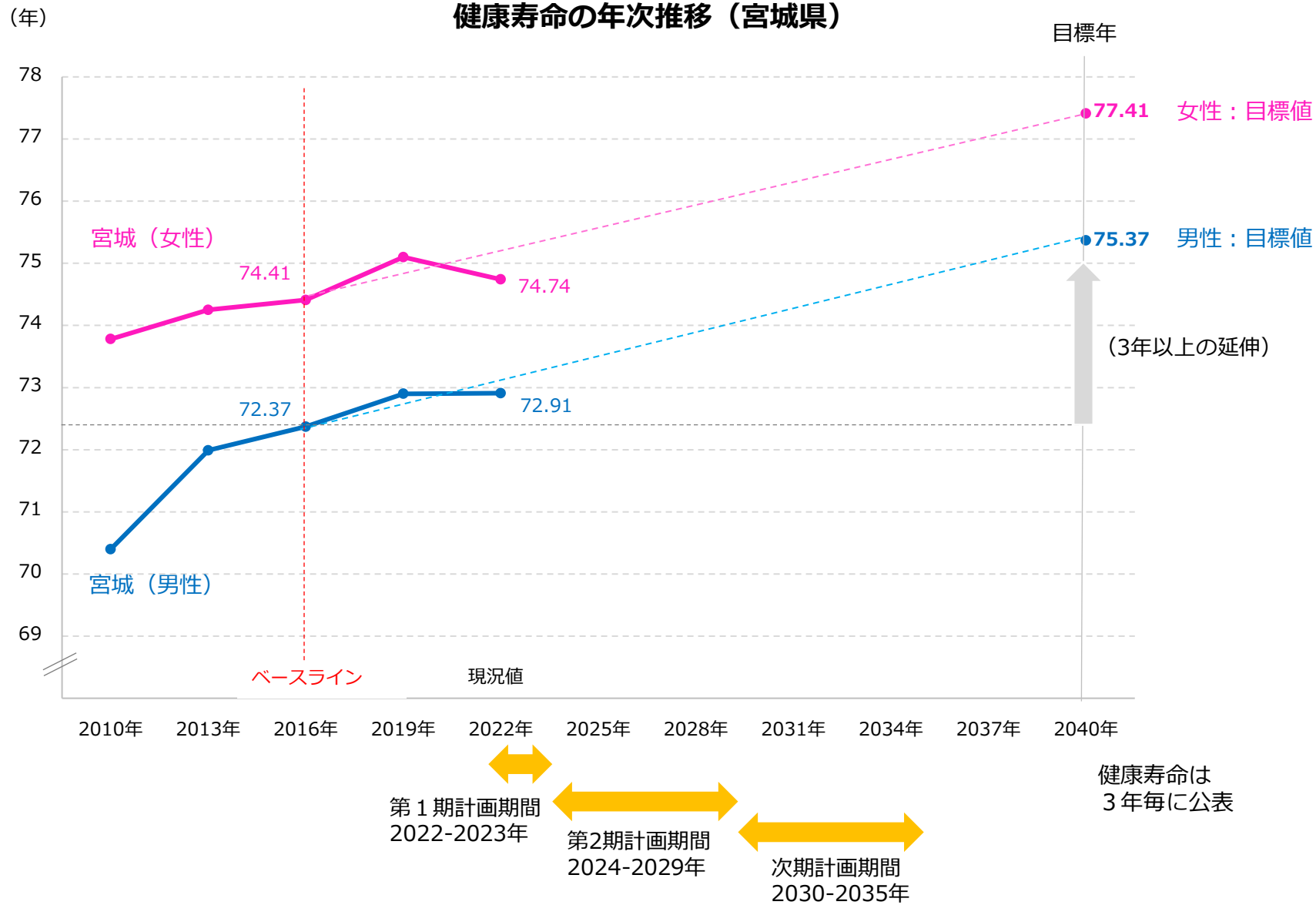


健康寿命 (年)		2010 (H22)	2013 (H25)	2016 (H28)	2019 (R1)	2022 (R4)
宮城県順位	男性	26位	5位	12位	16位	15位
	女性	22位	31位	37位	34位	43位

出典：厚生労働省 第4回健康日本21（第三次）
推進専門委員会（令和6年12月24日）
「健康寿命の令和4年値について」から
県でグラフ化

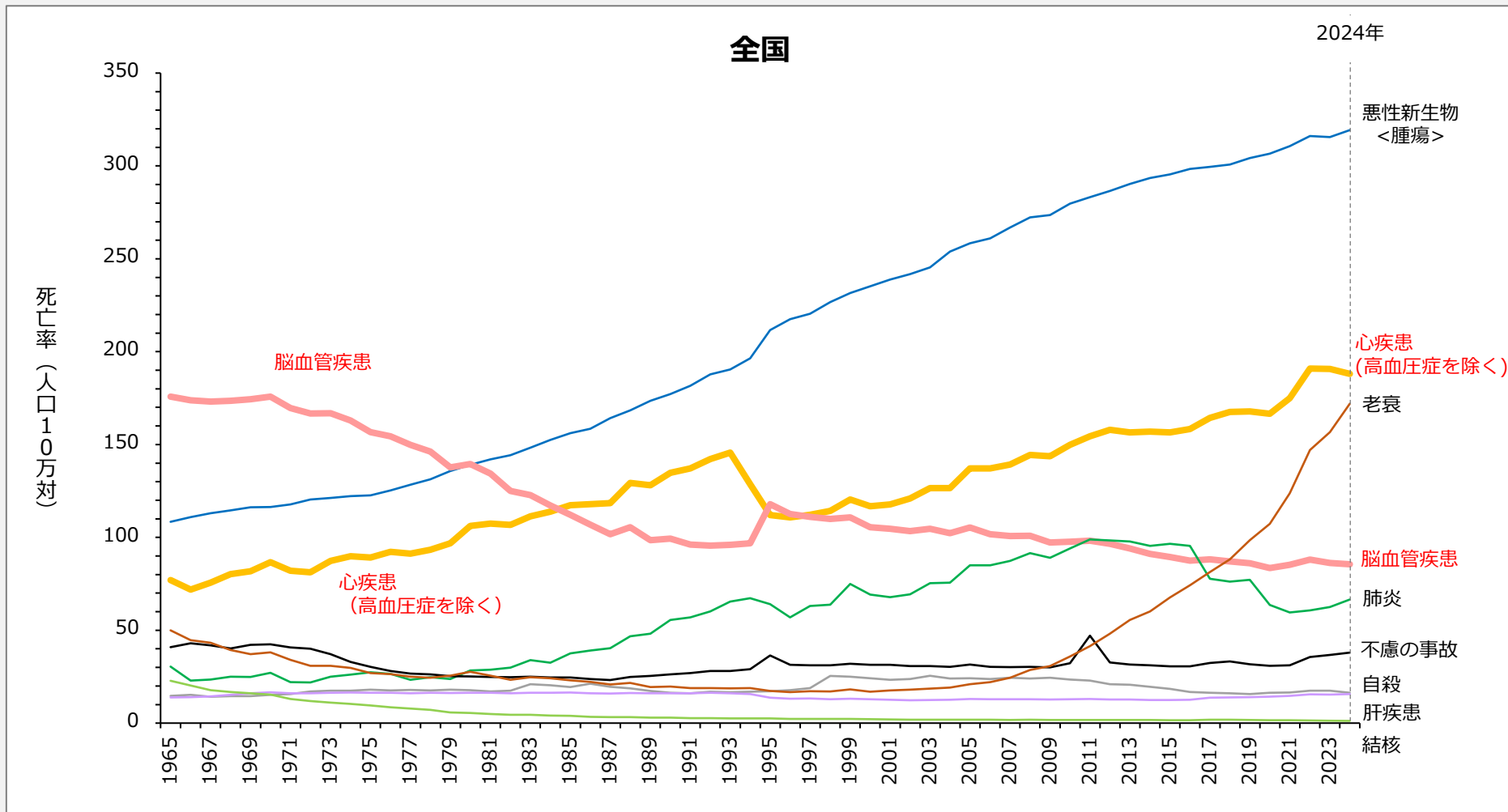
健康寿命の目標達成まで

健康寿命の年次推移（宮城県）



(余白)

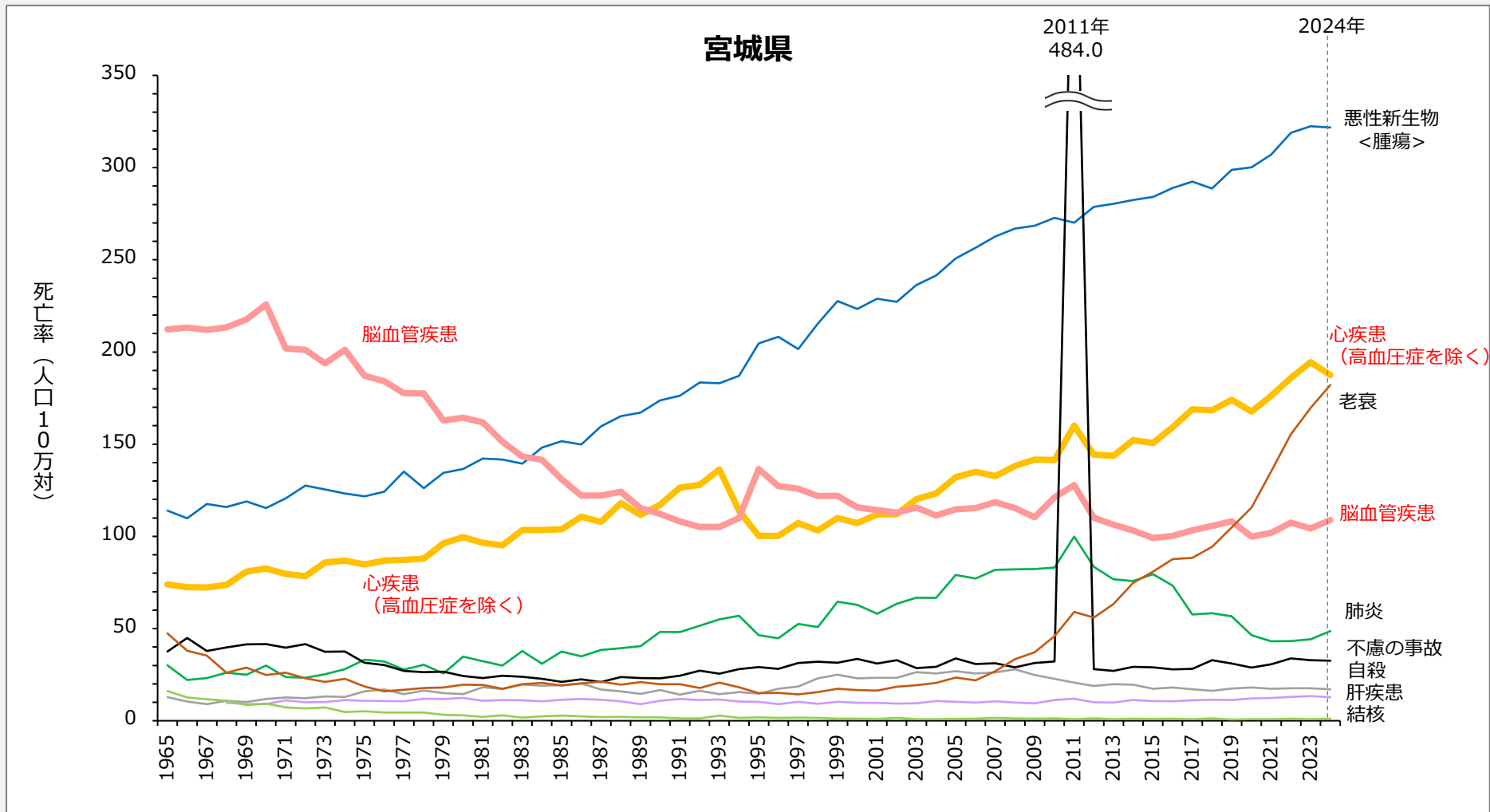
【全国】主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移



年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧症を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
2021 (R3)	310.7	174.9	123.8	85.2	59.6	31.2	16.5	14.7	1.5
2022 (R4)	316.1	190.9	147.1	88.1	60.7	35.6	17.4	15.5	1.4
2023 (R5)	315.6	190.7	156.7	86.3	62.5	36.7	17.4	15.4	1.3
2024 (R6)	319.3	188.1	172.0	85.5	66.6	38	16.3	15.7	1.2

出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

【宮城県】 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移

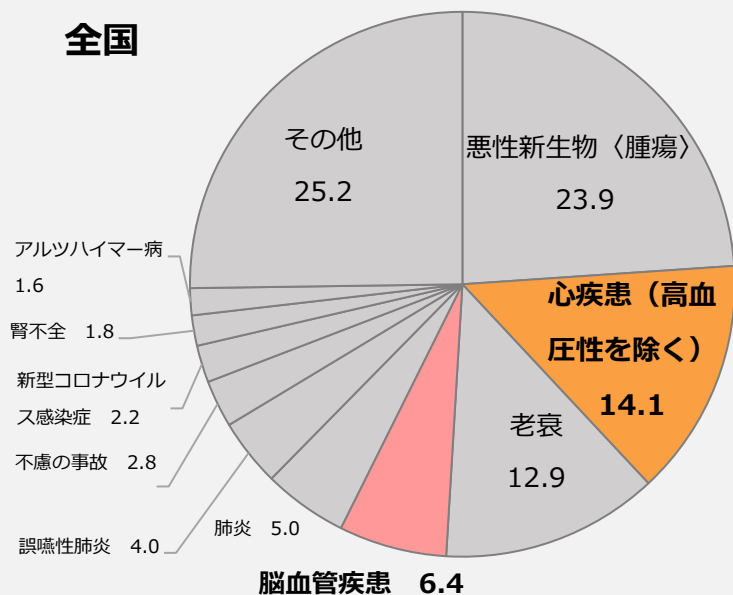


年	悪性新生物 <腫瘍>	心疾患 (高血圧症を除く)	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	自殺	肝疾患	結核
2021 (R3)	307.1	176.2	135.3	101.9	43.1	30.6	17.3	12.3	0.9
2022 (R4)	318.9	185.9	155.3	107.4	43.2	33.8	17.6	12.9	1.2
2023 (R5)	322.4	194.5	169.6	104.2	44.2	32.9	17.6	13.4	0.9
2024 (R6)	321.7	187.5	182.1	108.9	48.6	32.6	17.1	12.8	1.1

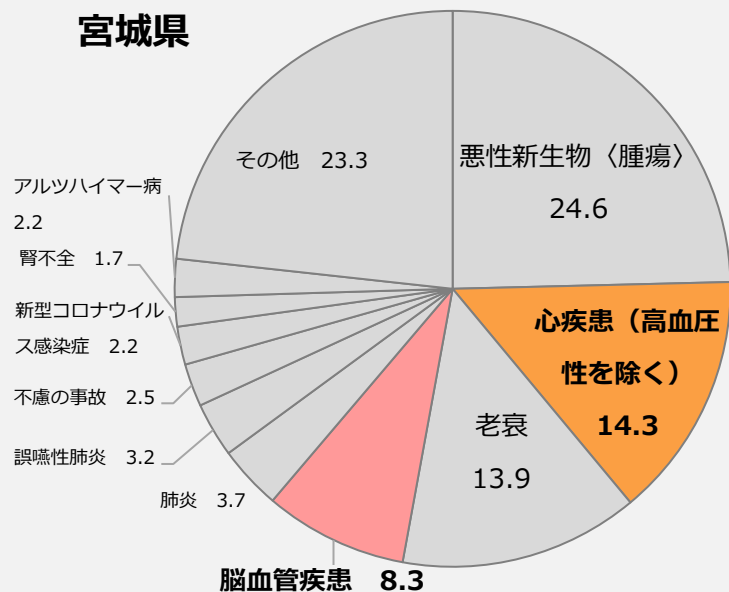
出典：
厚生労働省
人口動態統計
(確定数)

主な死因の構成割合（2024（R6）年）全国と宮城県

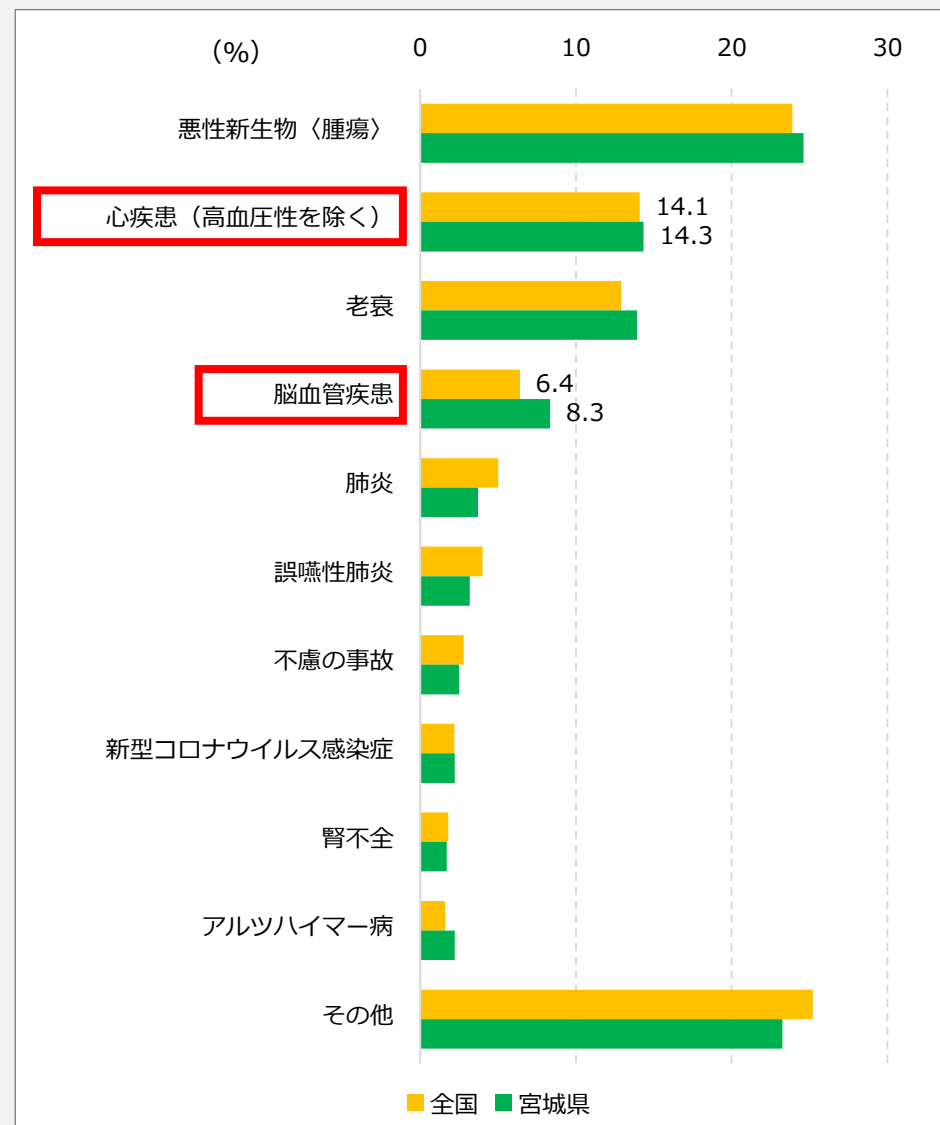
全国



宮城県

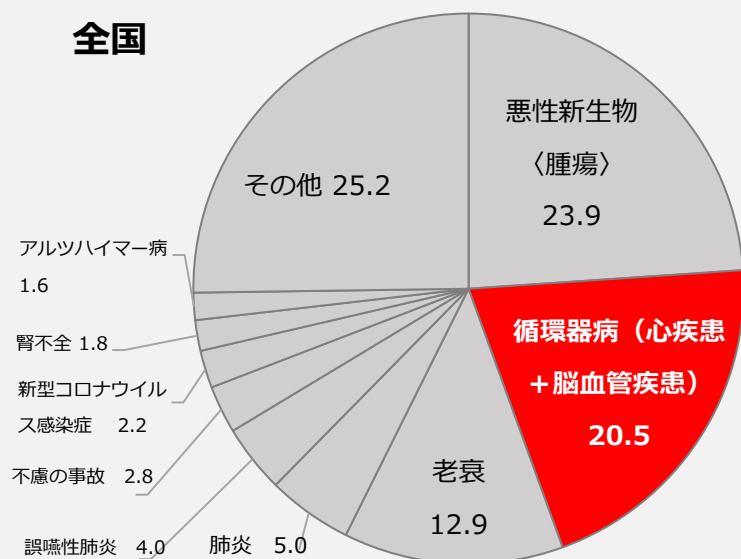


全国と宮城県の割合の比較

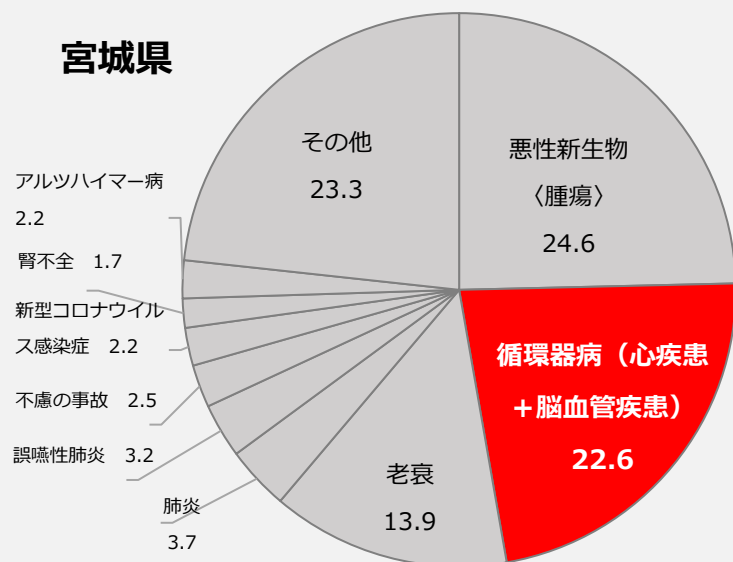


主な死因の構成割合（2024（R6）年）全国と宮城県

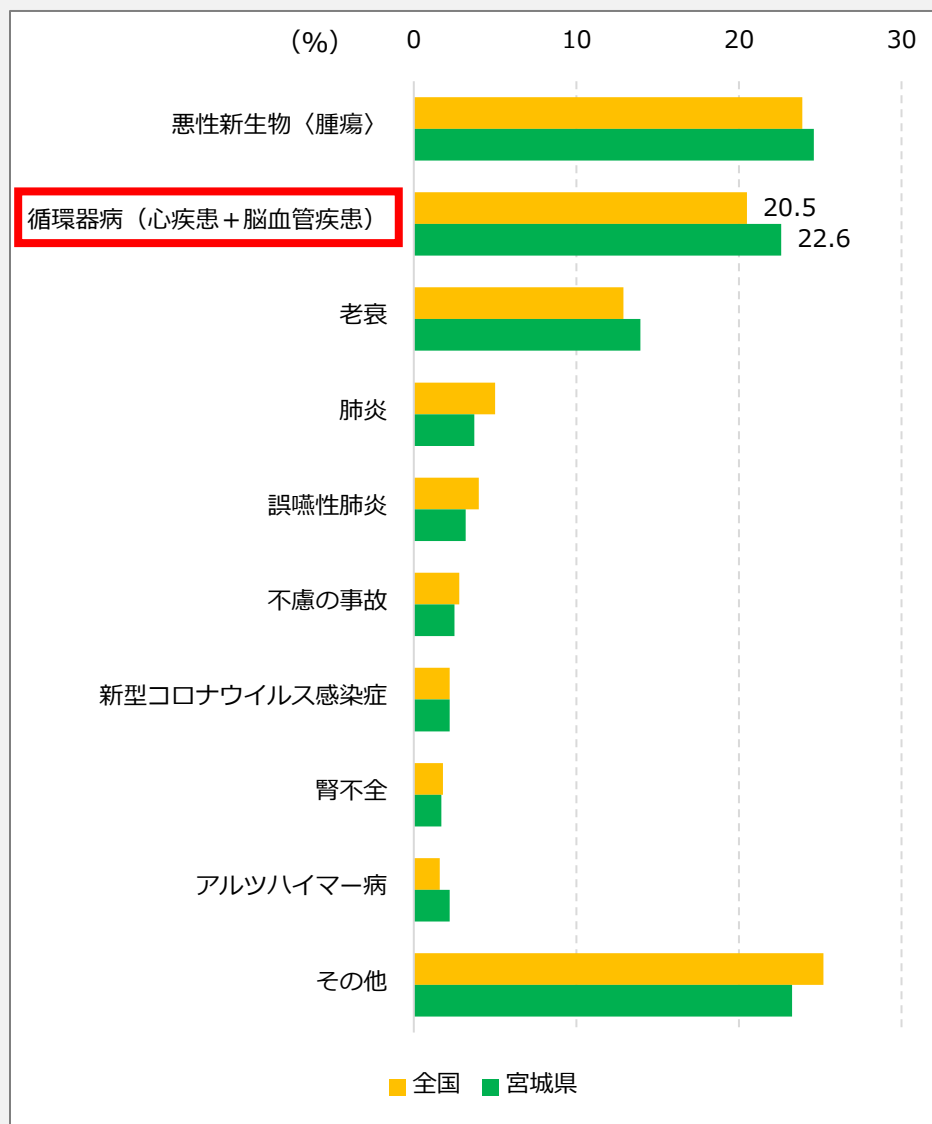
全国



宮城県



全国と宮城県の割合の比較



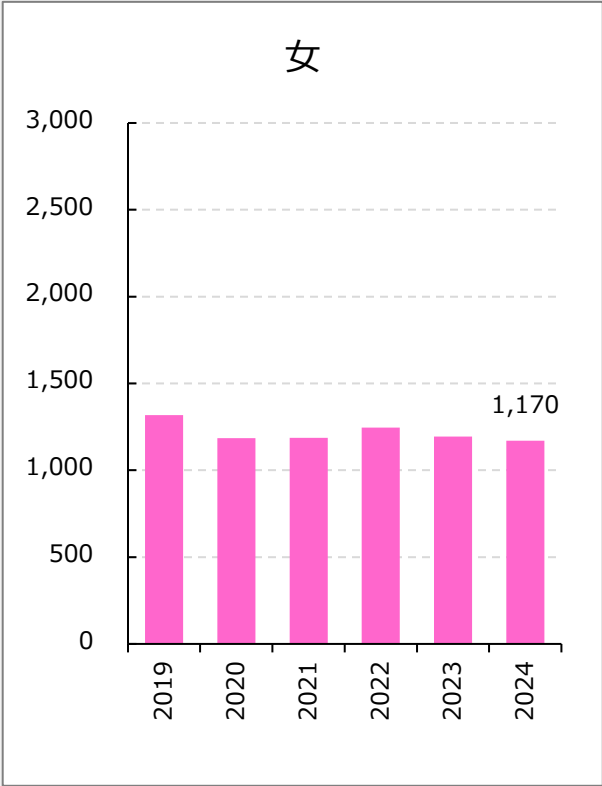
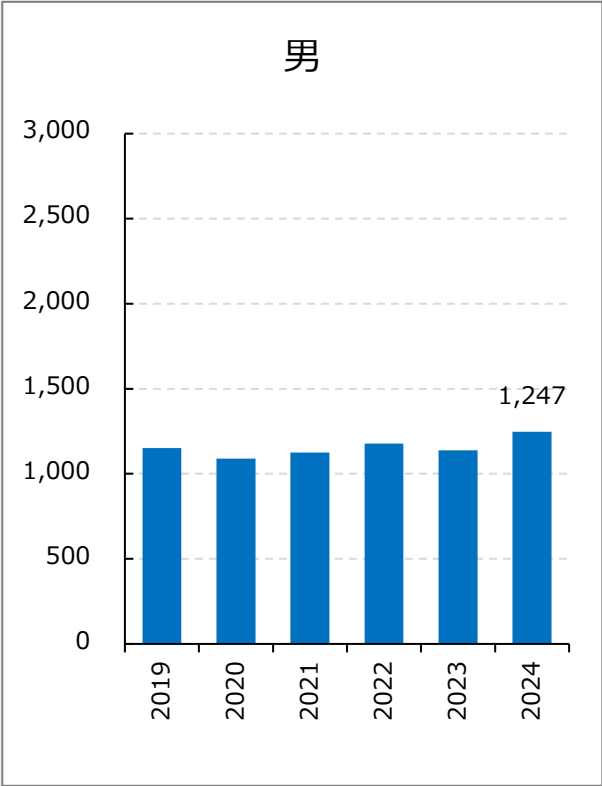
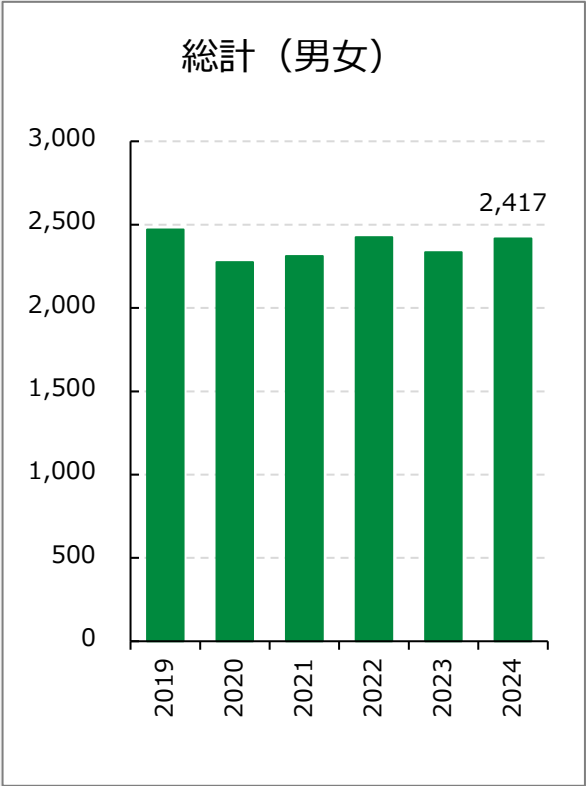
脳血管疾患の死亡数 年次推移（宮城県）

脳血管疾患の死亡数（宮城県）

（参考）全国

宮城県	2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）
計	2,470	2,275	2,312	2,424	2,334	2,417
男	1,152	1,090	1,125	1,178	1,139	1,247
女	1,318	1,185	1,187	1,246	1,195	1,170

2024（R6）
102,821
51,176
51,645

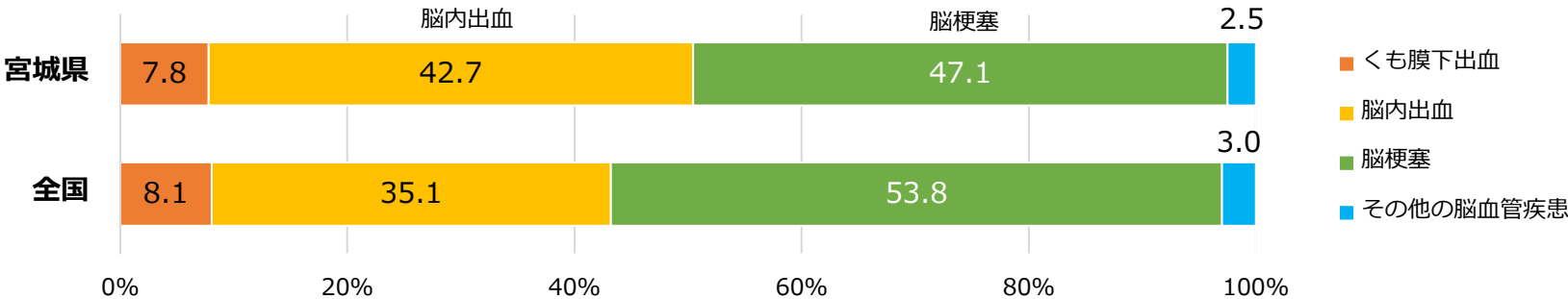


出典：厚生労働省 人口動態統計（令和元年～6年）

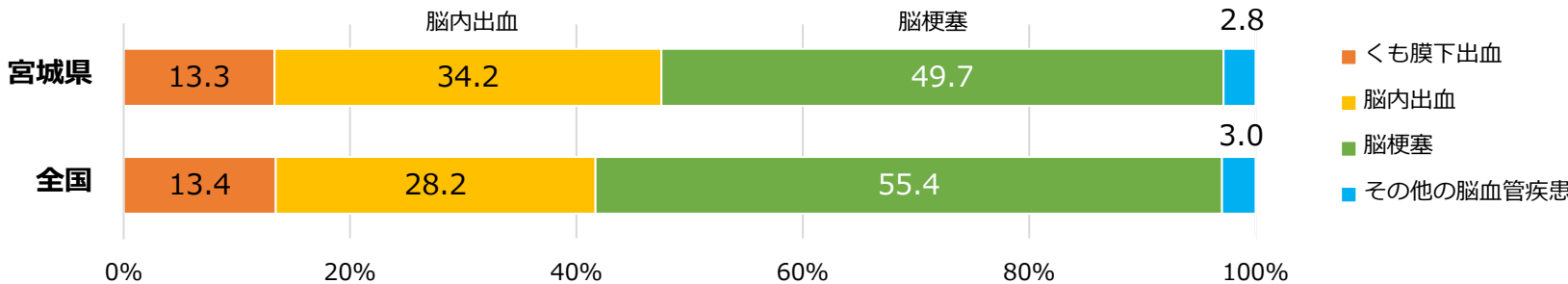
脳血管疾患の死亡者数と内訳（全国と宮城県）

宮城県	2019（R1）		2020（R2）		2021（R3）		2022（R4）		2023（R5）		2024（R6）	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
脳血管疾患総数	1,152	1,318	1,090	1,185	1,125	1,187	1,178	1,246	1,139	1,195	1,247	1,170
くも膜下出血	86	166	79	166	89	127	81	142	92	161	97	156
脳内出血	476	413	438	348	446	363	522	404	414	350	532	400
脳梗塞	562	701	534	636	548	669	526	666	594	651	587	581
その他の脳血管疾患	28	38	39	35	42	28	49	34	39	33	31	33

2024（R6）男

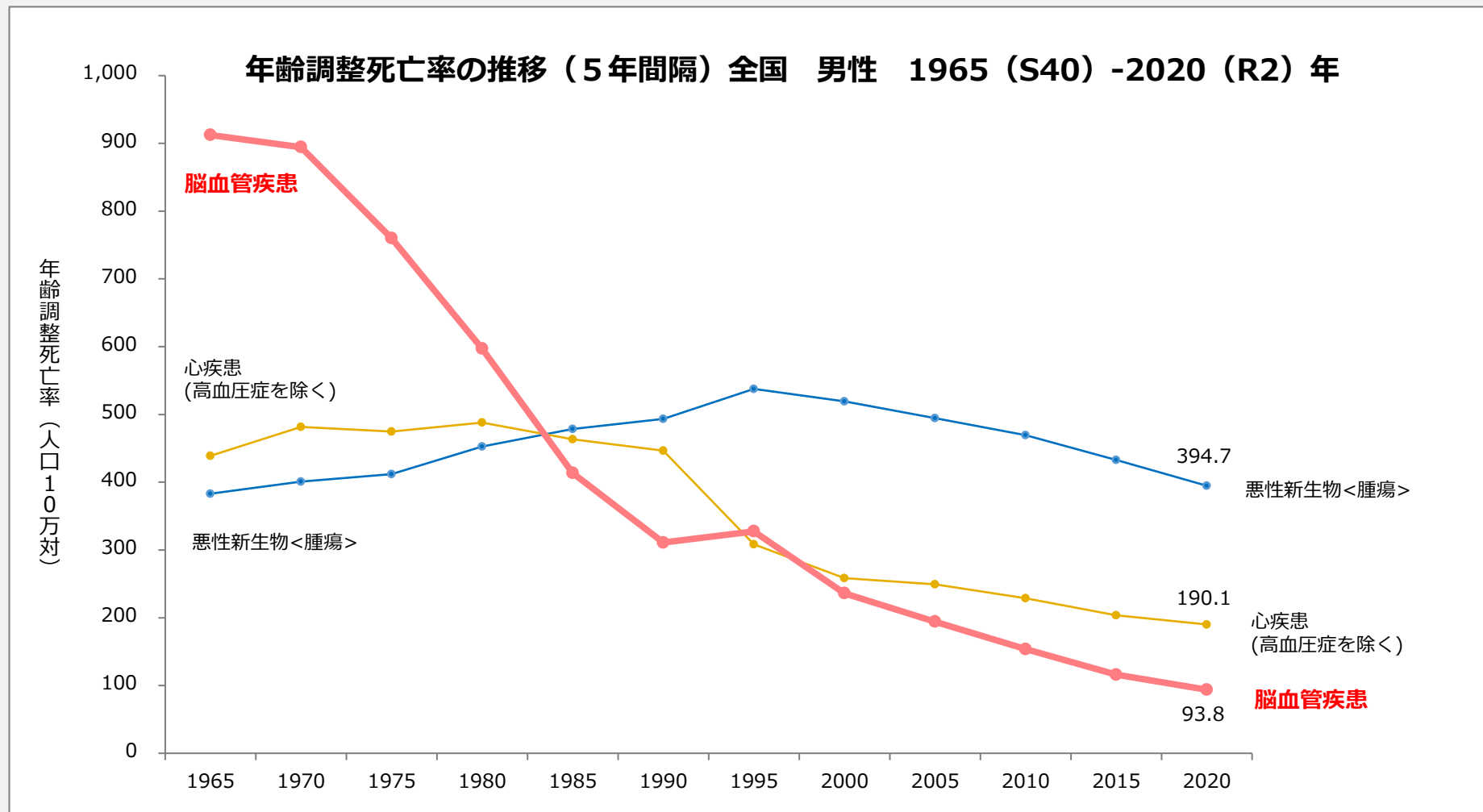


2024（R6）女



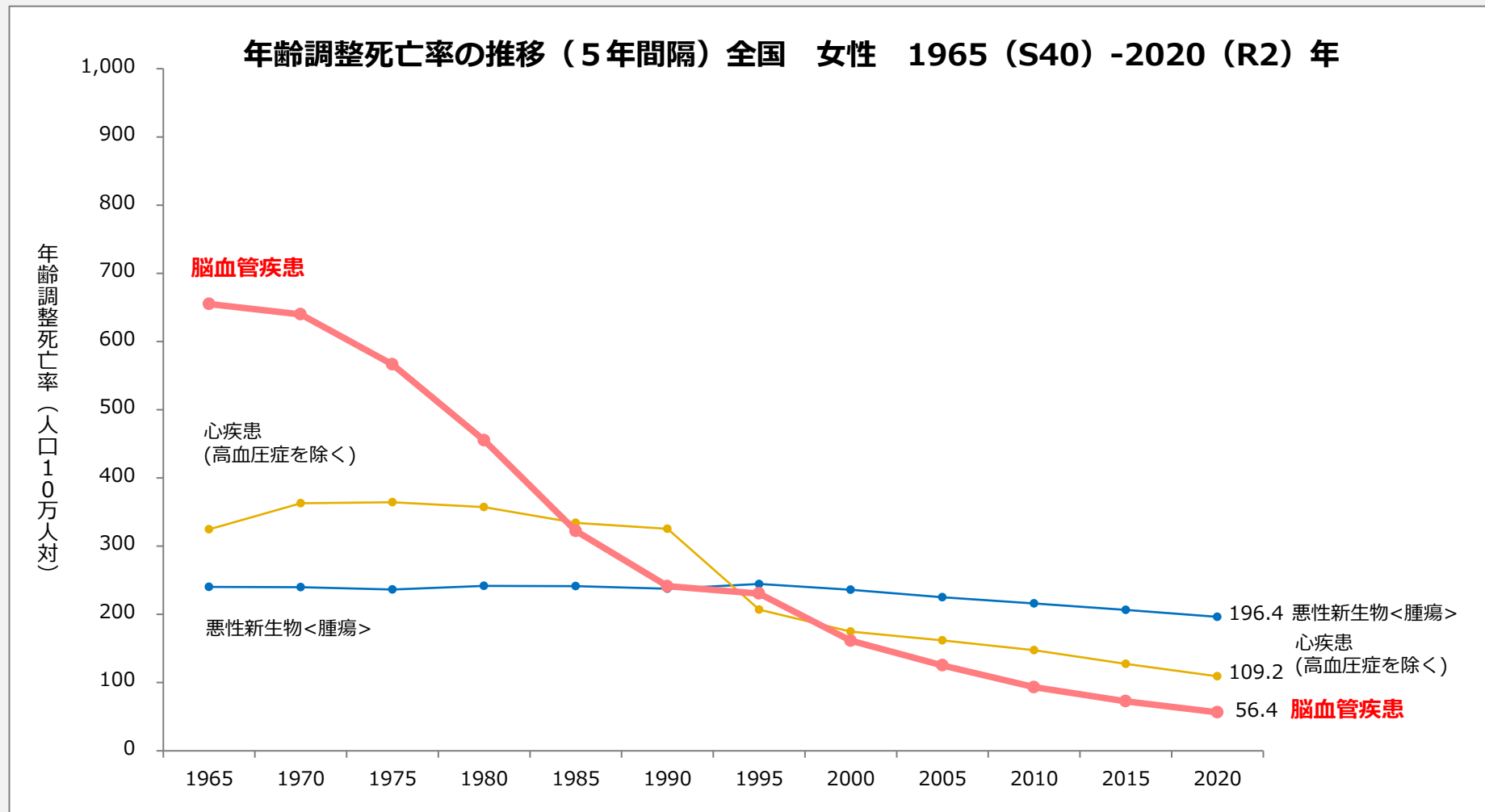
出典：データからみたまやぎの健康（令和6年度版）

【全国】三死因の年齢調整死亡率 年次推移（男）



年齢調整死亡率 (H27人口モデル)	1965 (S40)	1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
悪性新生物<腫瘍>	383.1	400.9	412.0	452.8	478.6	493.6	537.7	519.3	494.4	469.4	433.0	394.7
心疾患(高血圧性を除く)	439.0	481.6	474.6	488.0	463.5	446.4	308.4	258.3	249.2	228.9	203.6	190.1
脳血管疾患	912.3	894.4	760.1	597.0	413.6	311.0	327.4	236.1	194.3	153.7	116.0	93.8

【全国】三死因の年齢調整死亡率 年次推移（女）

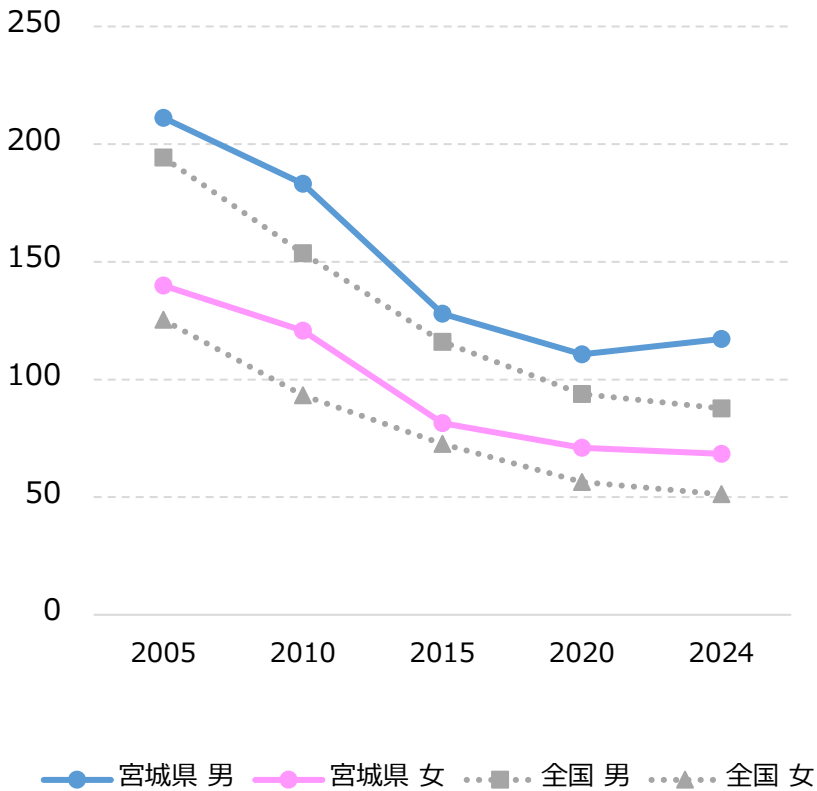


年齢調整死亡率 （H27人口モデル）	1965 （S40）	1970 （S45）	1975 （S50）	1980 （S55）	1985 （S60）	1990 （H2）	1995 （H7）	2000 （H12）	2005 （H17）	2010 （H22）	2015 （H27）	2020 （R2）
悪性新生物＜腫瘍＞	240.1	240	236.4	241.7	241.5	237.6	244.6	236.1	225	216.2	206.6	196.4
心疾患（高血圧性を除く）	324.8	363	364.4	357.3	334	325.5	206.9	174.7	161.8	147.4	127.4	109.2
脳血管疾患	655	639.8	566.3	455.2	322.3	241.3	230.5	161.4	125.3	93.3	72.6	56.4

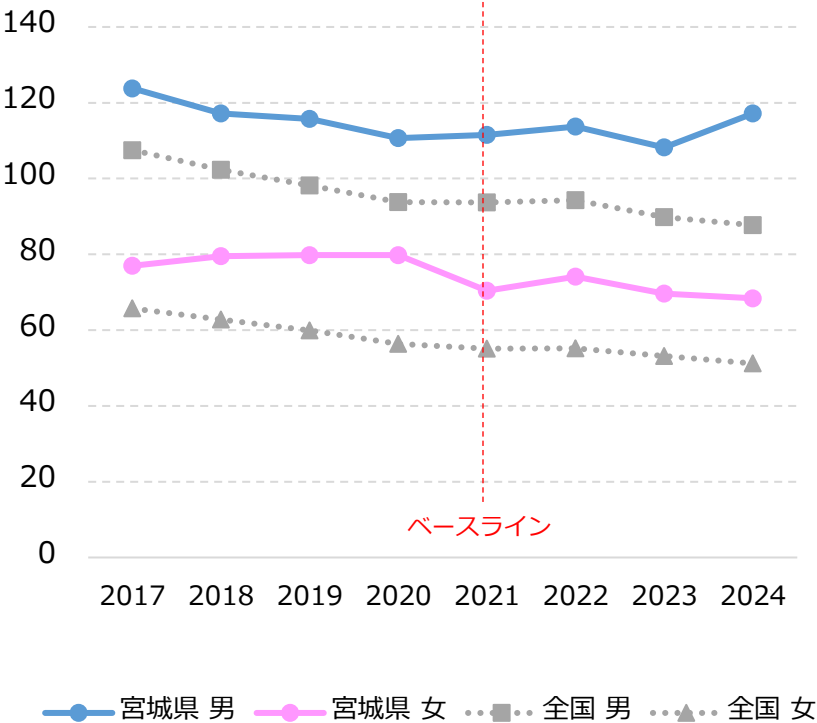
出典：厚生労働省 人口動態統計（確定数）

脳血管疾患 年齢調整死亡率の推移（宮城県と全国）

脳血管疾患（5年間隔（2024年のみ4年間隔））



脳血管疾患（直近1年間隔）



		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
宮城県	男	123.8	117.2	115.7	110.7	111.5	113.7	108.2	117.2
	女	77.0	79.5	79.8	79.8	70.4	74.1	69.6	68.4
全国	男	107.5	102.3	98.2	93.8	93.7	94.3	89.8	87.7
	女	65.7	62.8	59.9	56.4	55.1	55.2	53.2	51.2

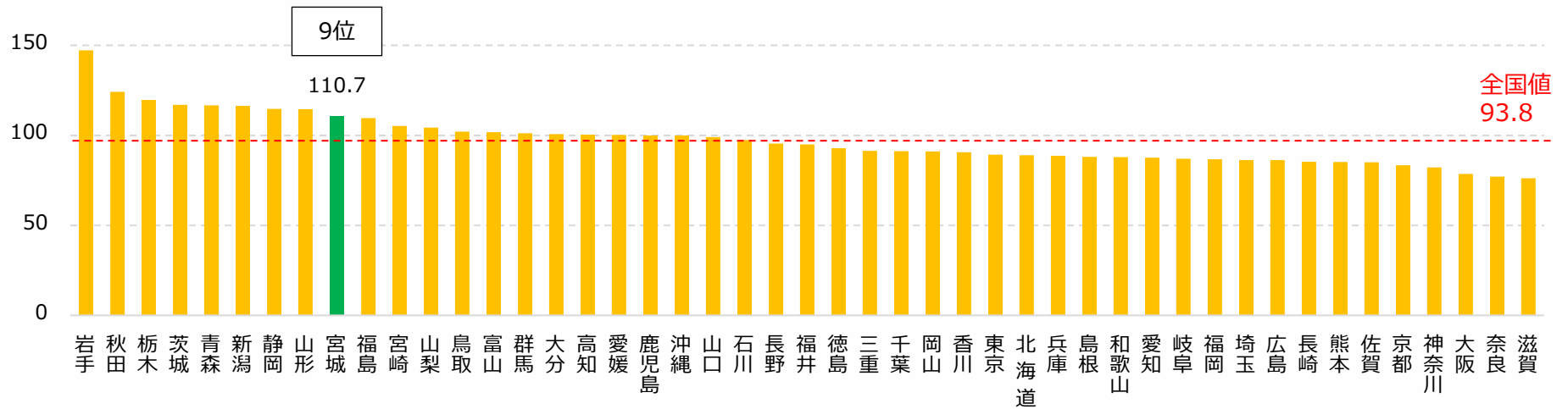
ベースライン

現況値

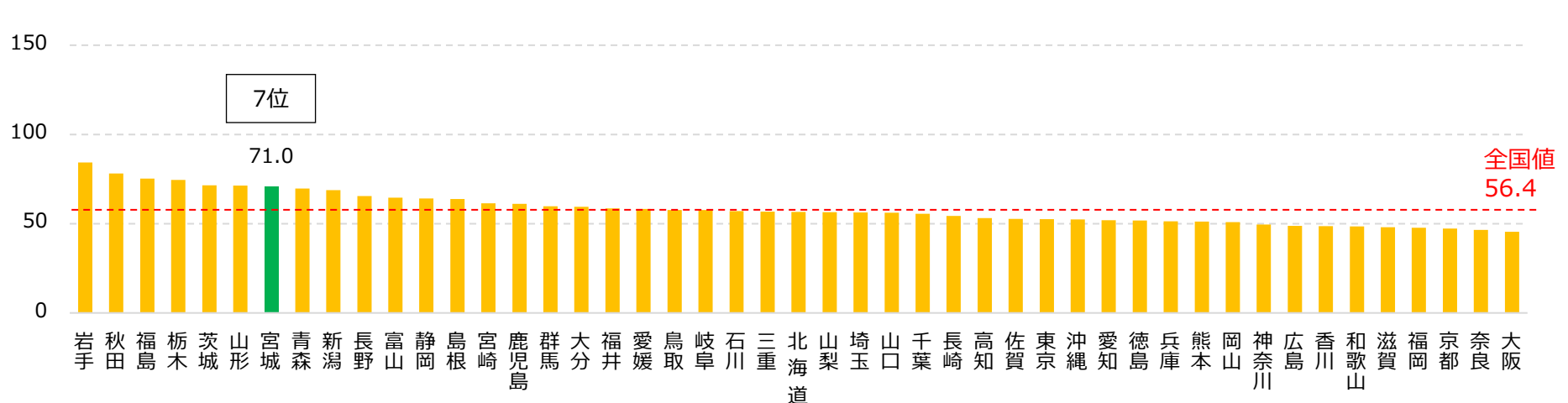
【目標】
脳血管疾患の
年齢調整死亡率の
減少かつ全国値より低い

脳血管疾患 年齢調整死亡率の全国順位 (2020 (R2) 年)

脳血管疾患 男



脳血管疾患 女



注意：全都道府県の年齢調整死亡率が国から公開されている直近値は、2020（R2）年（5年に1回公表）。

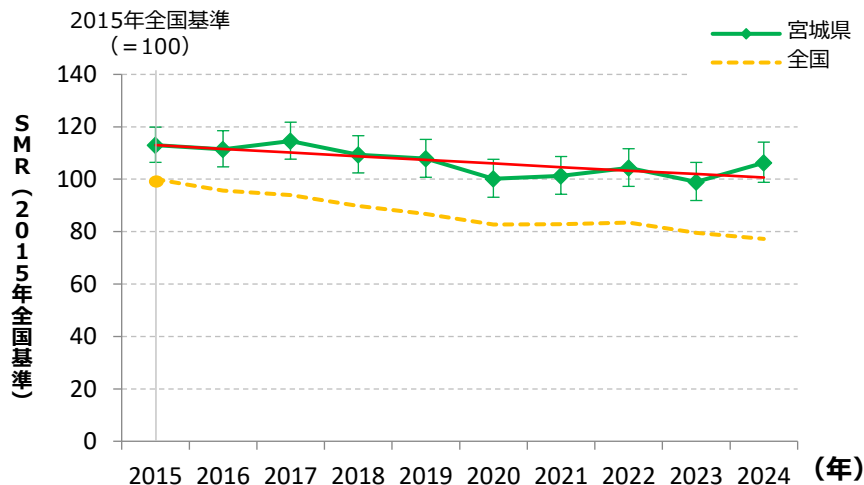
出典：厚生労働省 令和5年度人口動態統計特殊報告（令和2年都道府県別年齢調整死亡率の概況）から県でグラフ化

脳血管疾患の死亡率の変化（全国と宮城県）

脳血管疾患の標準化死亡比（SMR）の経年変化

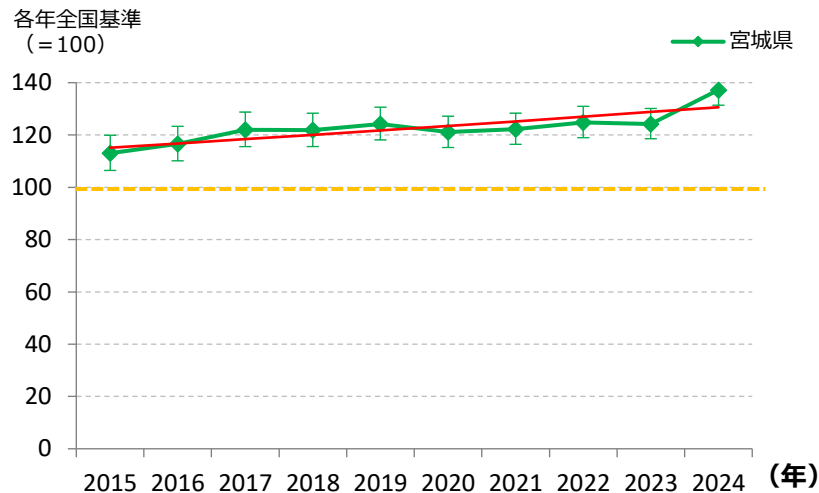
SMRの変化率：-12.1%/10年（トレンド* $p<0.001$ ）

男性



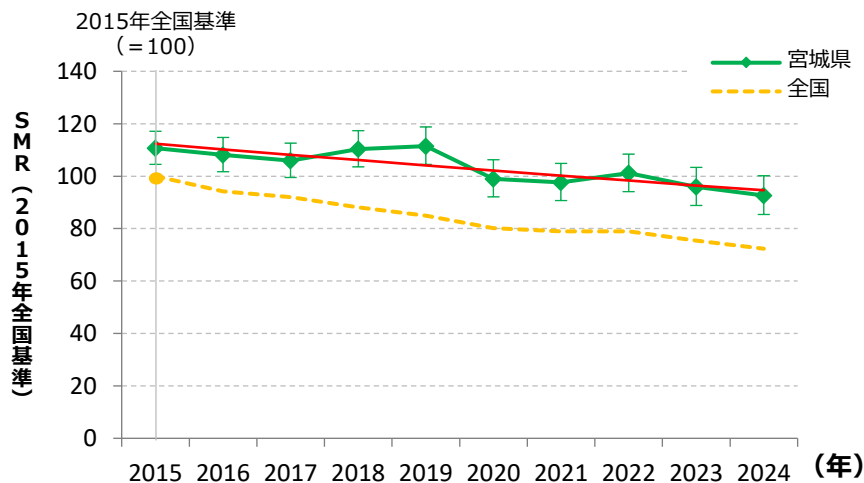
SMRの変化率：+15.0%/10年（トレンド* $p<0.001$ ）

SMR (各年全国基準)



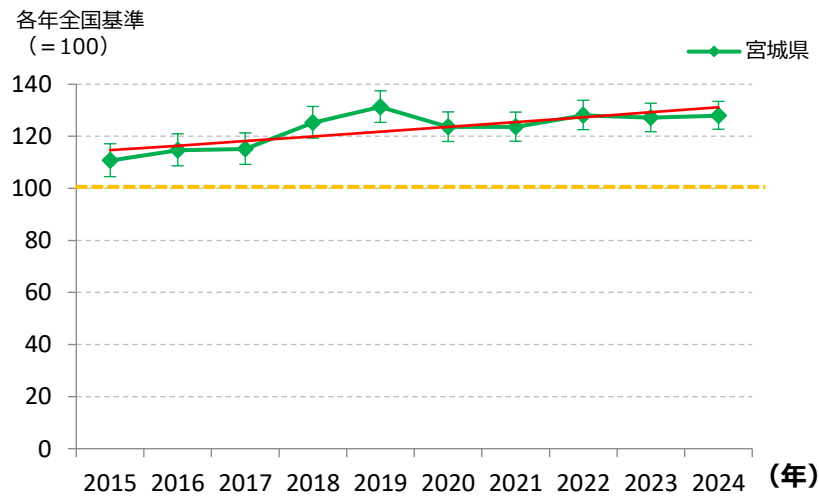
SMRの変化率：-17.4%/10年（トレンド* $p<0.001$ ）

女性



SMRの変化率：+16.1%/10年（トレンド* $p<0.001$ ）

SMR (各年全国基準)

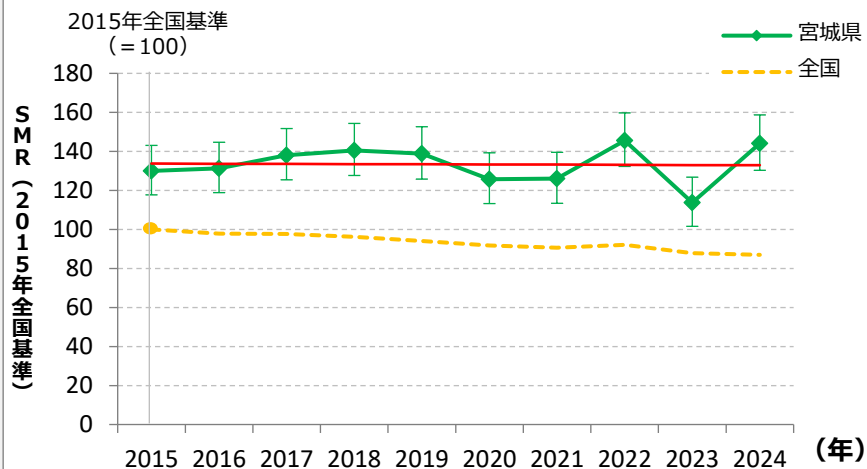


脳内出血の死亡率の変化（全国と宮城県）

脳内出血の標準化死亡比（SMR）の経年変化

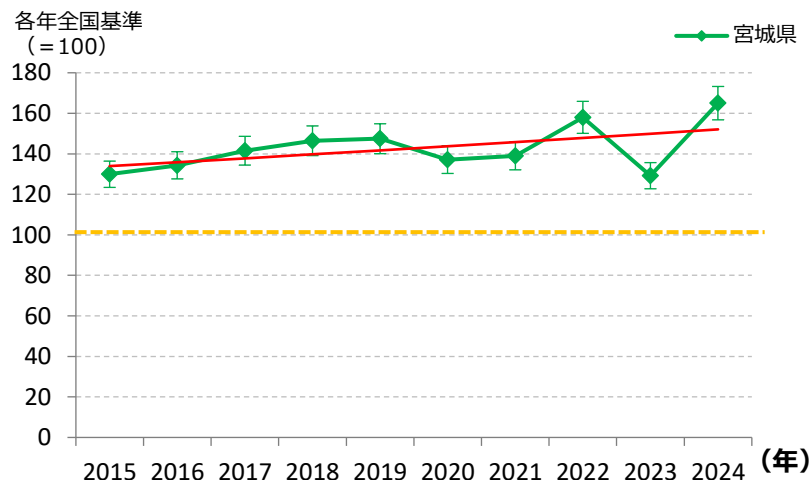
SMRの変化率：-0.7%/10年（トレンド* p=0.886）

男性



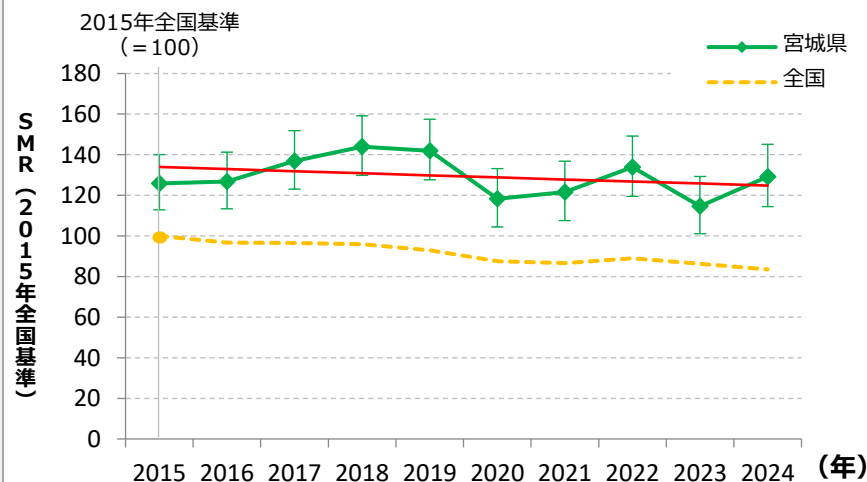
SMRの変化率：+15.1%/10年（トレンド* p=0.006）

SMR (各年全国基準)



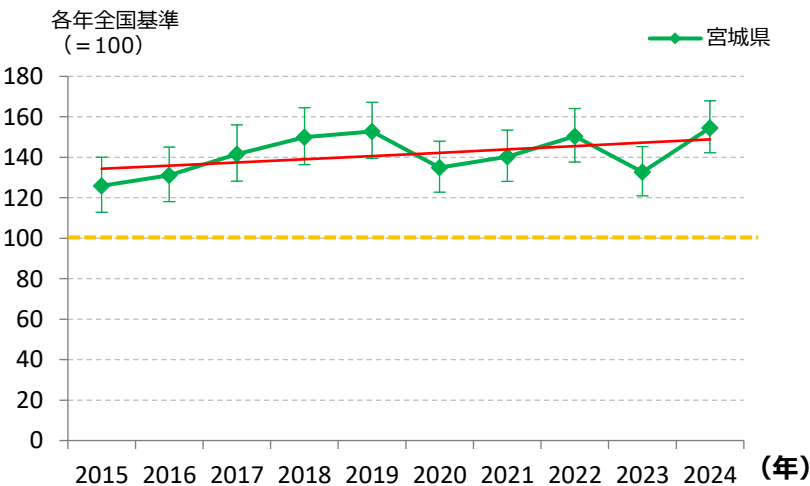
SMRの変化率：-7.6%/10年（トレンド* p=0.166）

女性



SMRの変化率：+12.1%/10年（トレンド* p=0.045）

SMR (各年全国基準)

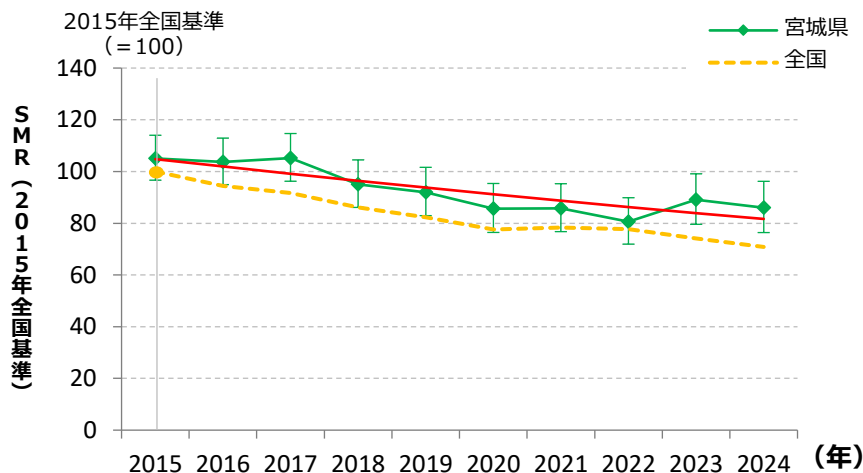


脳梗塞の死亡率の変化（全国と宮城県）

脳梗塞の標準化死亡比（SMR）の経年変化

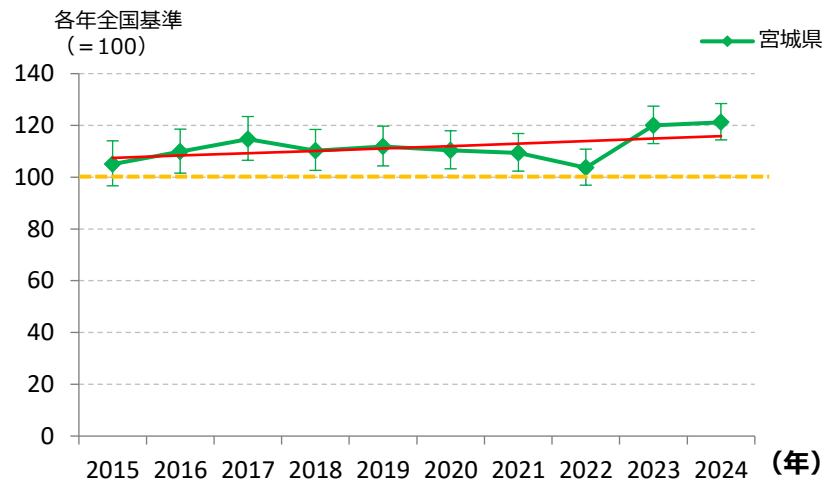
SMRの変化率：-24.2%/10年（トレンド* $p<0.001$ ）

男性



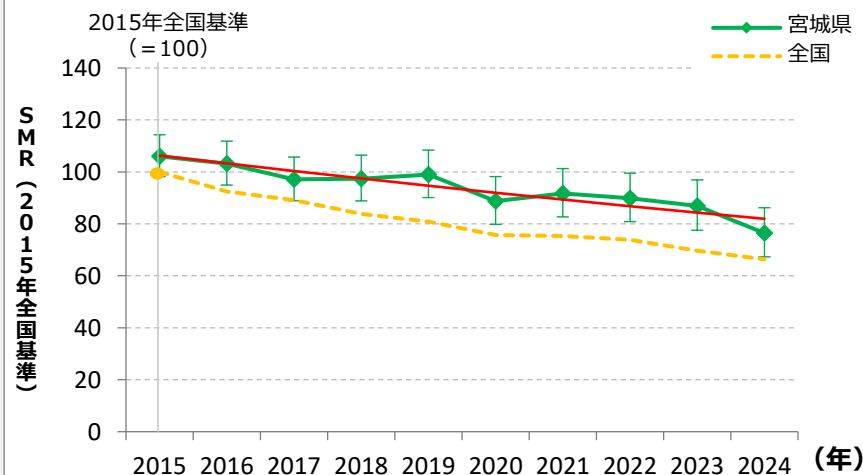
SMRの変化率：+8.8%/10年（トレンド* $p=0.069$ ）

SMR (各年全国基準)



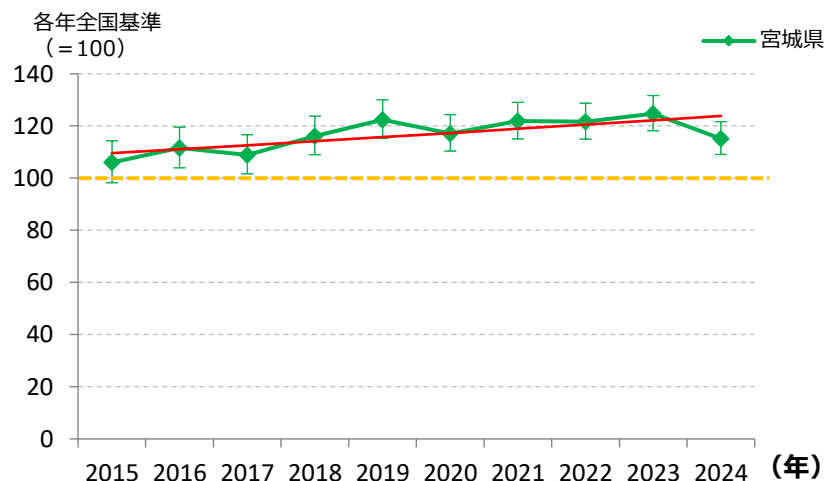
SMRの変化率：-25.1%/10年（トレンド* $p<0.001$ ）

女性



SMRの変化率：+14.6%/10年（トレンド* $p=0.001$ ）

SMR (各年全国基準)



(余白)

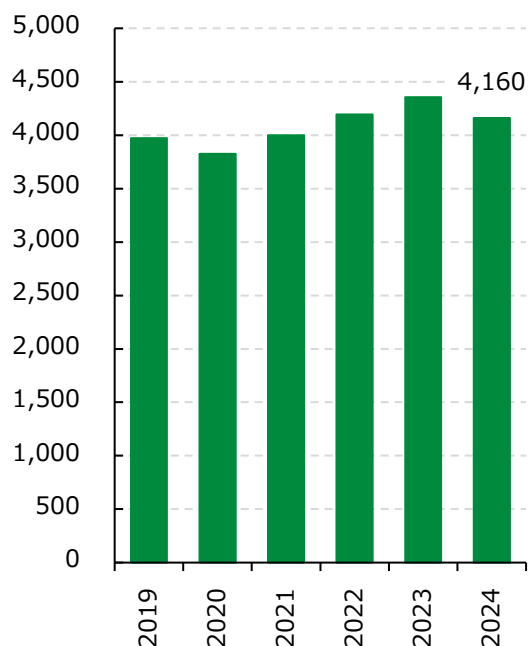
心疾患（高血圧症を除く）の死亡数 年次推移（宮城県）

心疾患（高血圧症を除く）の死亡数（宮城県）

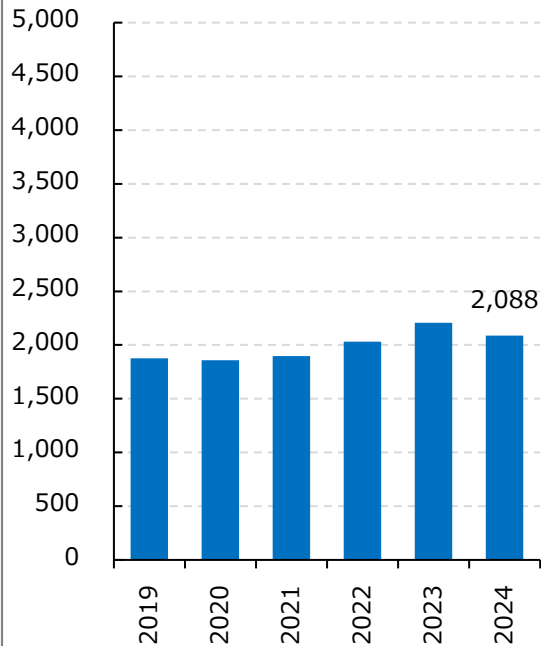
（参考）全国

宮城県	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2024 (R6)
計	3,973	3,824	3,999	4,195	4,354	4,160	226,388
男	1,876	1,857	1,898	2,032	2,208	2,088	111,425
女	2,097	1,967	2,101	2,163	2,146	2,072	114,963

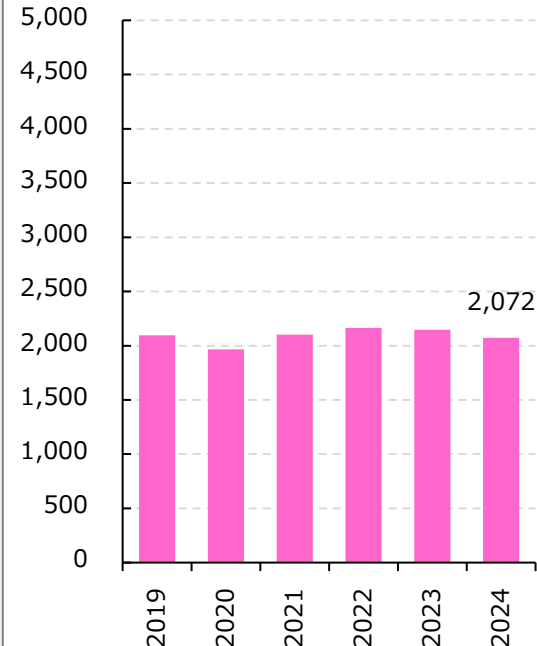
総計（男女）



男

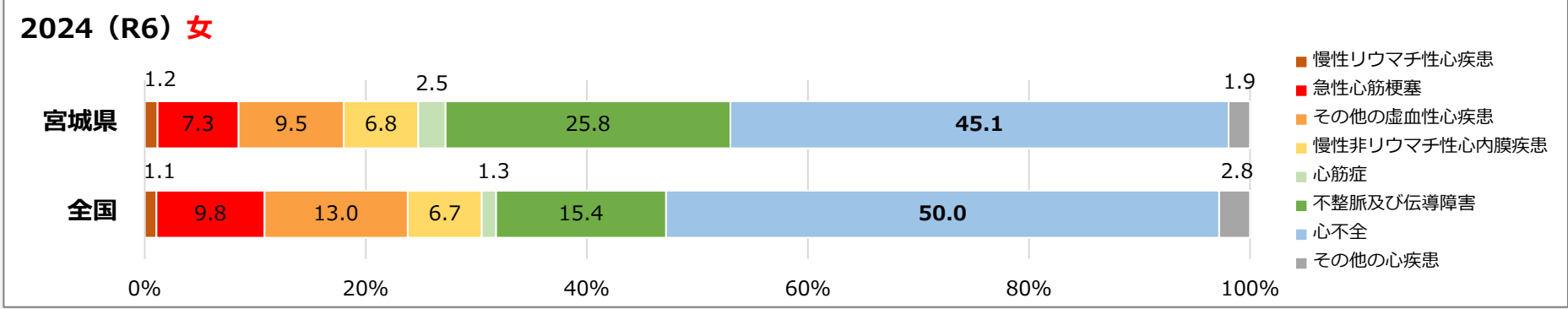
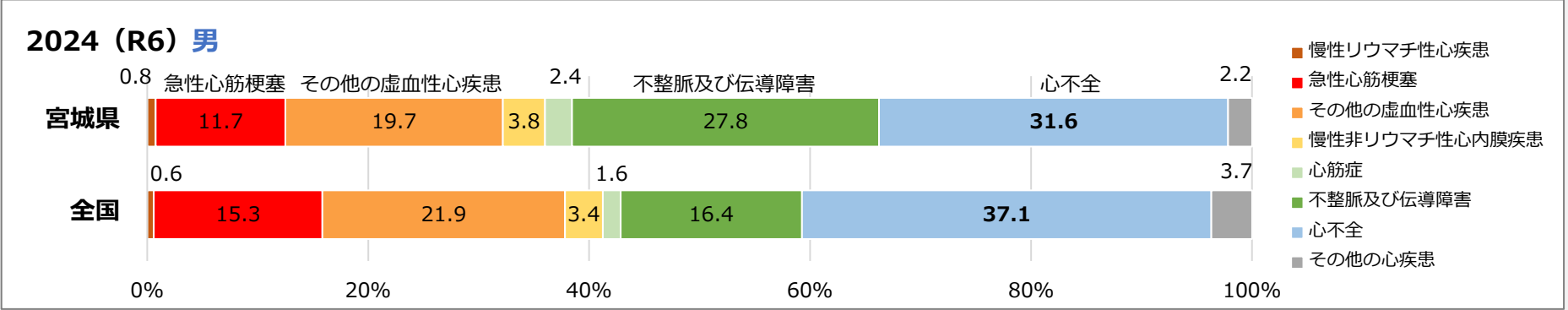


女

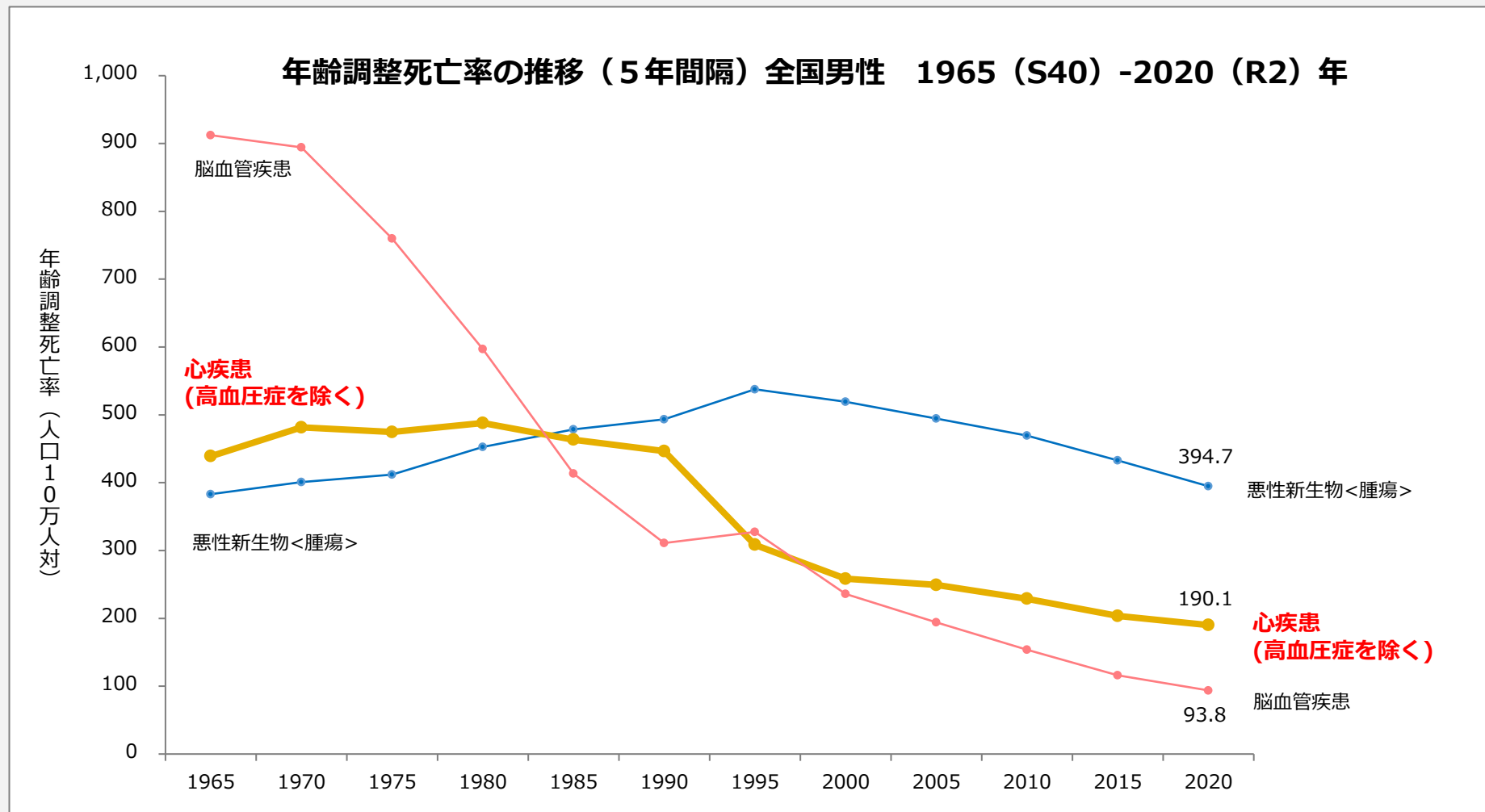


心疾患（高血圧症を除く）の死亡者数と内訳（宮城県と全国）

宮城県	2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)		2023 (R5)		2024 (R6)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
心疾患総数	1,876	2,097	1,857	1,967	1,898	2,101	2,032	2,163	2,208	2,146	2,088	2,072
慢性リウマチ性心疾患	11	26	6	17	13	21	13	22	17	25	16	24
急性心筋梗塞	262	184	202	158	230	173	247	169	301	146	245	152
その他の虚血性心疾患	358	264	384	205	344	204	385	214	458	206	411	197
慢性非リウマチ性 心内膜疾患	60	138	77	146	94	142	75	145	80	133	80	140
心筋症	54	29	41	43	50	55	65	37	55	30	51	51
不整脈及び伝導障害	478	452	491	425	487	458	532	444	564	477	580	534
心不全	622	969	615	946	640	1,016	672	1,101	683	1,093	660	934
その他の心疾患	31	35	41	27	40	32	43	31	50	36	45	40



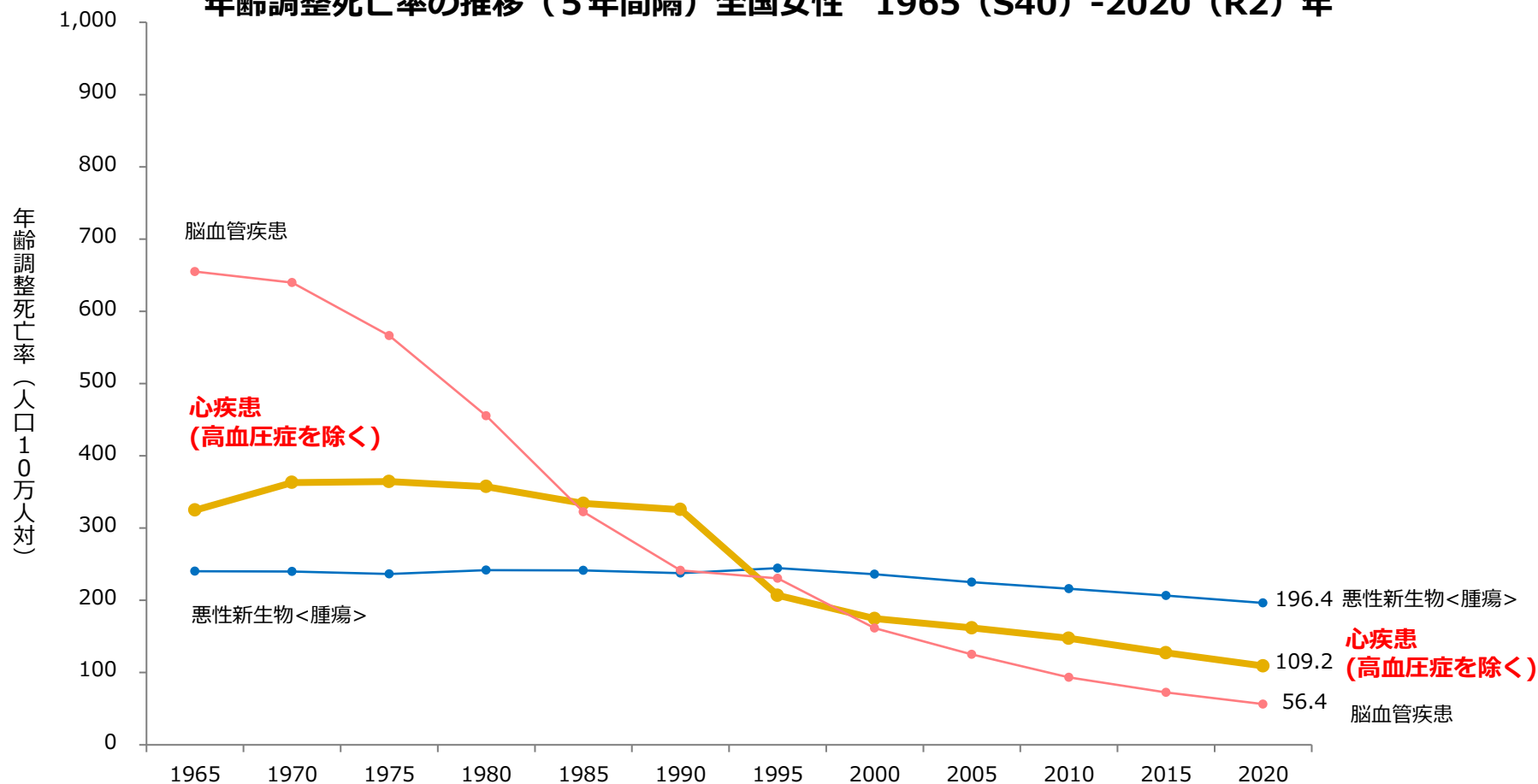
【全国】三死因の年齢調整死亡率 年次推移（男）



年齢調整死亡率 (H27人口モデル)	1965 (S40)	1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
悪性新生物<腫瘍>	383.1	400.9	412.0	452.8	478.6	493.6	537.7	519.3	494.4	469.4	433.0	394.7
心疾患(高血圧性を除く)	439.0	481.6	474.6	488.0	463.5	446.4	308.4	258.3	249.2	228.9	203.6	190.1
脳血管疾患	912.3	894.4	760.1	597.0	413.6	311.0	327.4	236.1	194.3	153.7	116.0	93.8

【全国】三死因の年齢調整死亡率 年次推移（女）

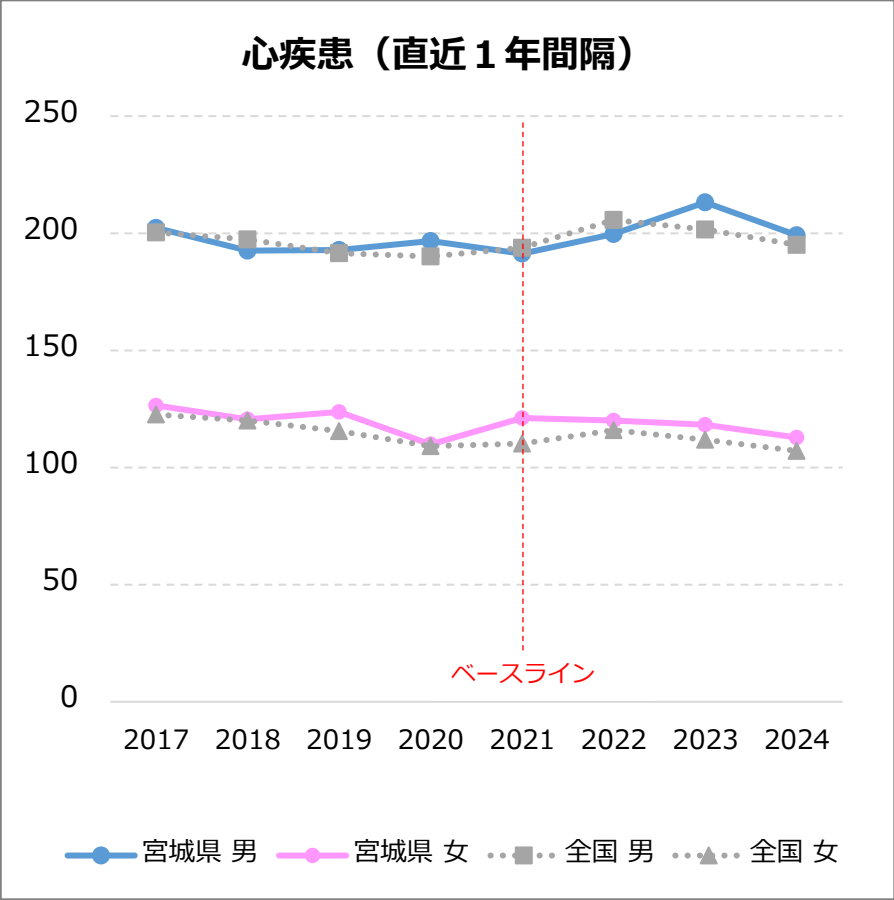
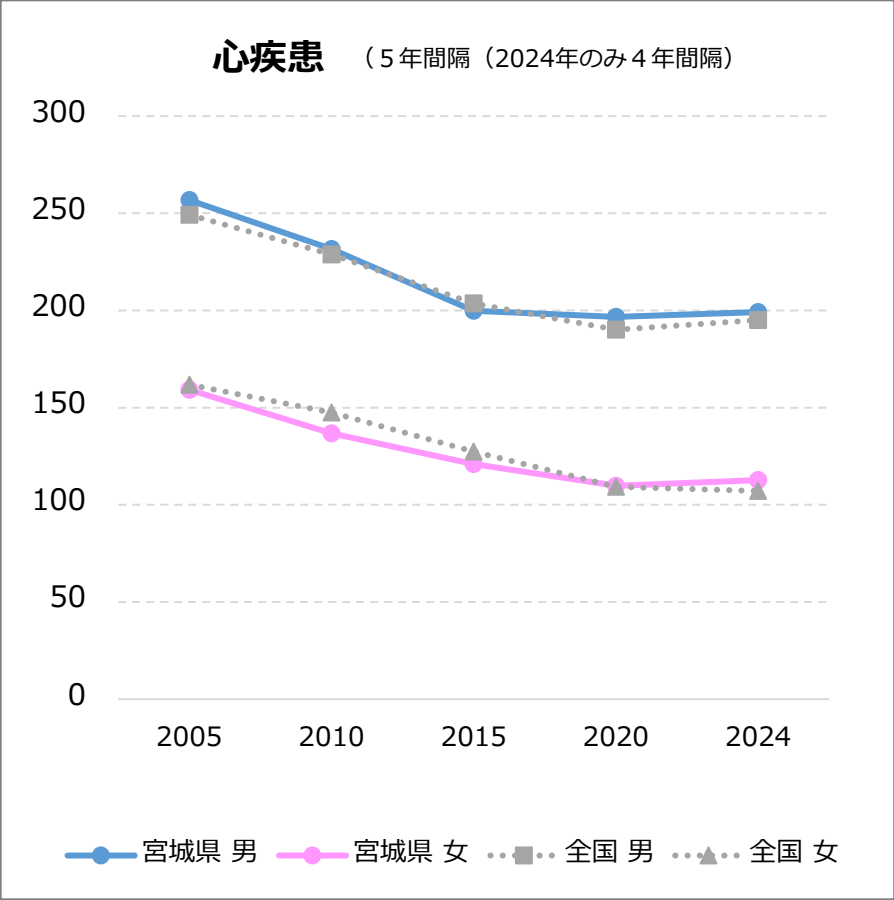
年齢調整死亡率の推移（5年間隔）全国女性 1965（S40）-2020（R2）年



年齢調整死亡率 (H27人口モデル)	1965 (S40)	1970 (S45)	1975 (S50)	1980 (S55)	1985 (S60)	1990 (H2)	1995 (H7)	2000 (H12)	2005 (H17)	2010 (H22)	2015 (H27)	2020 (R2)
悪性新生物<腫瘍>	240.1	240	236.4	241.7	241.5	237.6	244.6	236.1	225	216.2	206.6	196.4
心疾患 (高血圧性を除く)	324.8	363	364.4	357.3	334	325.5	206.9	174.7	161.8	147.4	127.4	109.2
脳血管疾患	655	639.8	566.3	455.2	322.3	241.3	230.5	161.4	125.3	93.3	72.6	56.4

出典：厚生労働省 人口動態統計（確定数）

心疾患（高血圧症を除く）年齢調整死亡率の推移（宮城県と全国）



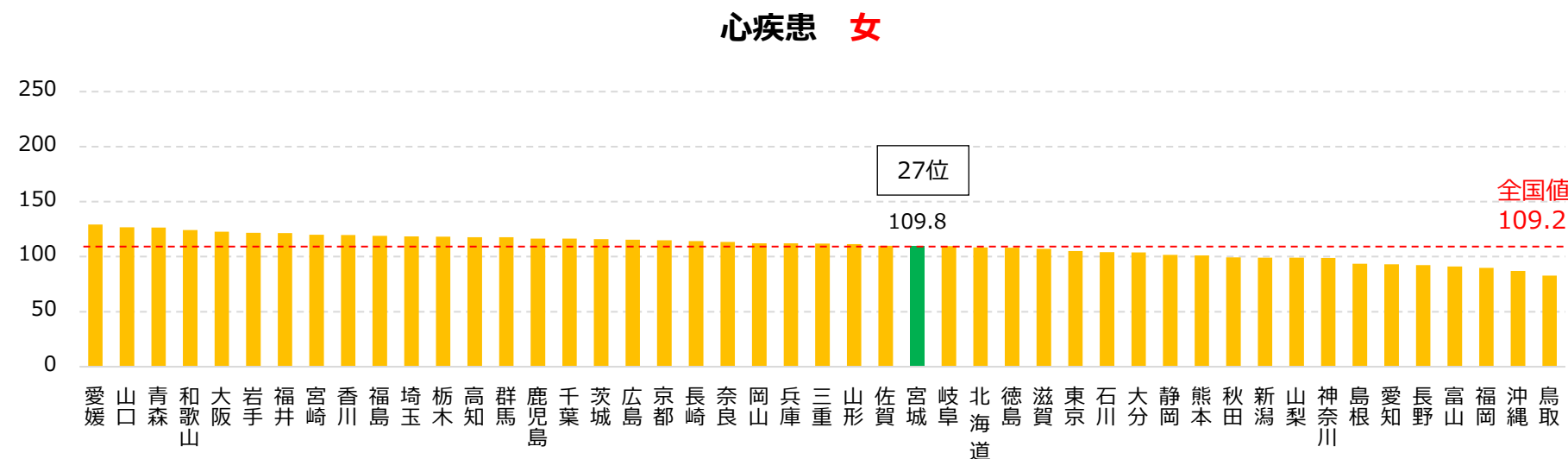
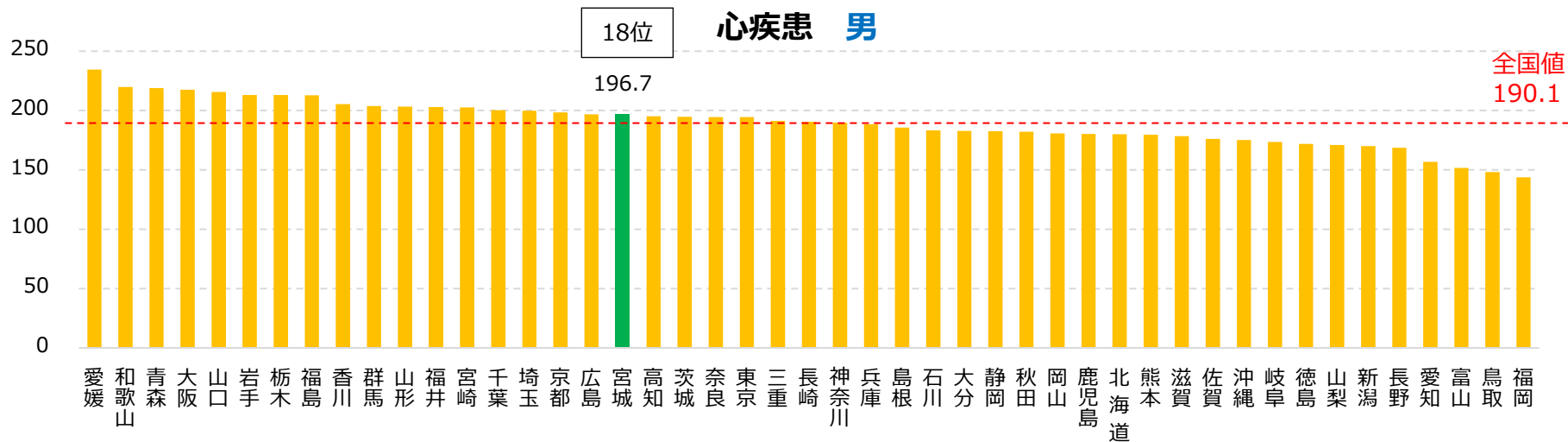
		2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
宮城県	男	202.3	192.6	192.8	196.7	191.3	199.7	213.2	199.2
	女	126.5	120.6	123.7	109.9	121.1	120.1	118.3	112.8
全国	男	200.4	197.4	191.5	190.1	193.8	205.7	201.6	195
	女	122.6	120.1	115.6	109.2	110.2	115.9	111.8	107.1

ベースライン

現況値

【目標】
心疾患の年齢調整死亡率の
減少かつ全国値より低い

心疾患 年齢調整死亡率の全国順位 (2020 (R2) 年)



注意：全都道府県の年齢調整死亡率が国から公開されている直近値は、2020 (R2) 年 (5年に1回公表)。

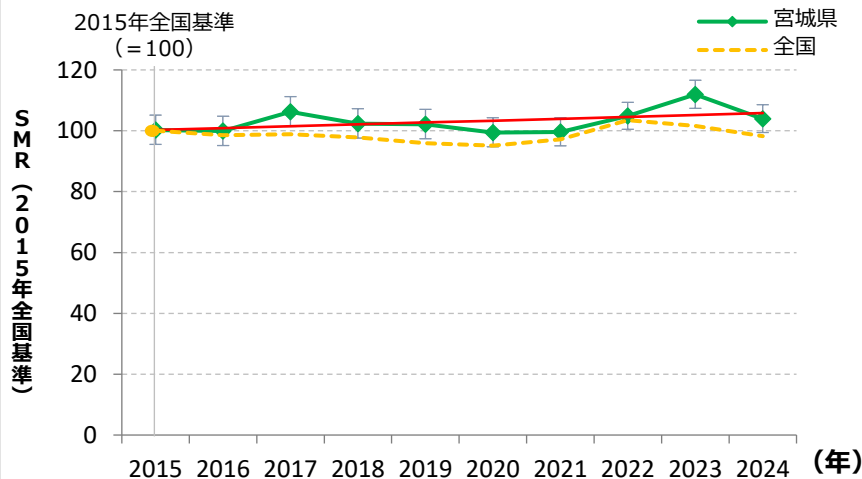
出典：厚生労働省 令和5年度人口動態統計特殊報告 (令和2年都道府県別年齢調整死亡率の概況) から県でグラフ化

心疾患の死亡率の変化（全国と宮城県）

心疾患（高血圧症を除く）の標準化死亡比（SMR）の経年変化

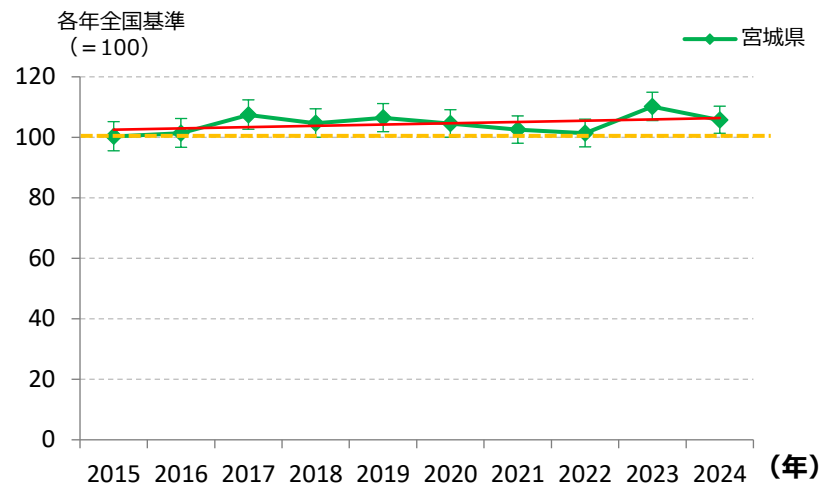
SMRの変化率：+6.2%/10年（トレンド* p=0.019）

男性



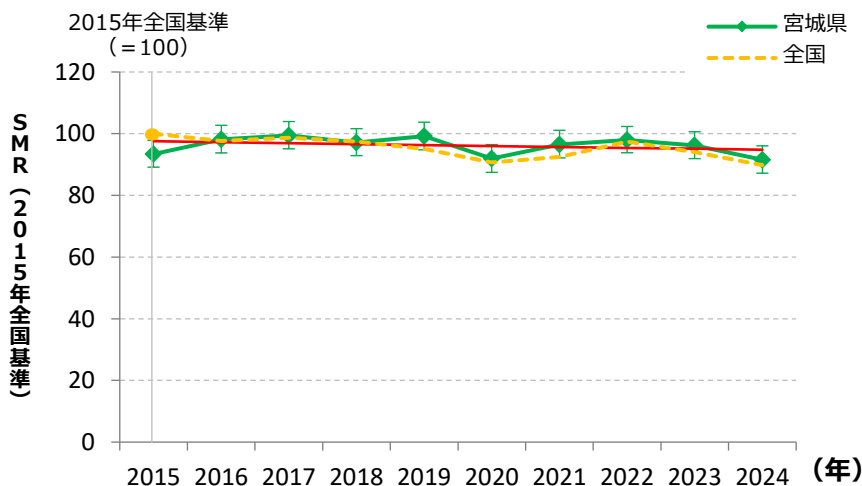
SMRの変化率：+4.2%/10年（トレンド* p=0.103）

SMR (各年全国基準)



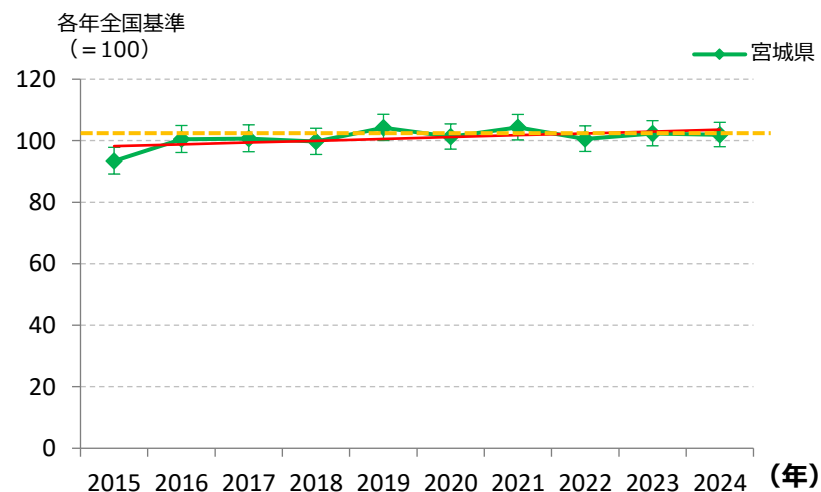
SMRの変化率：-3.1%/10年（トレンド* p=0.196）

女性



SMRの変化率：+6.1%/10年（トレンド* p=0.016）

SMR (各年全国基準)

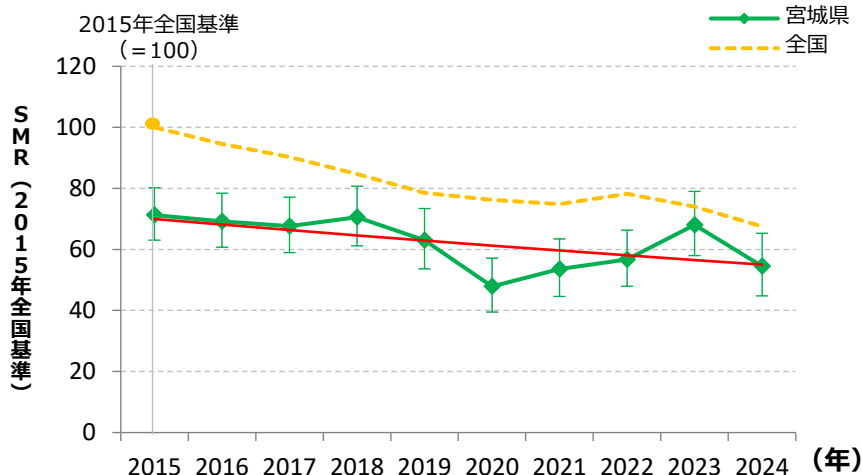


急性心筋梗塞の死亡率の変化（全国と宮城県）

急性心筋梗塞の標準化死亡比（SMR）の経年変化

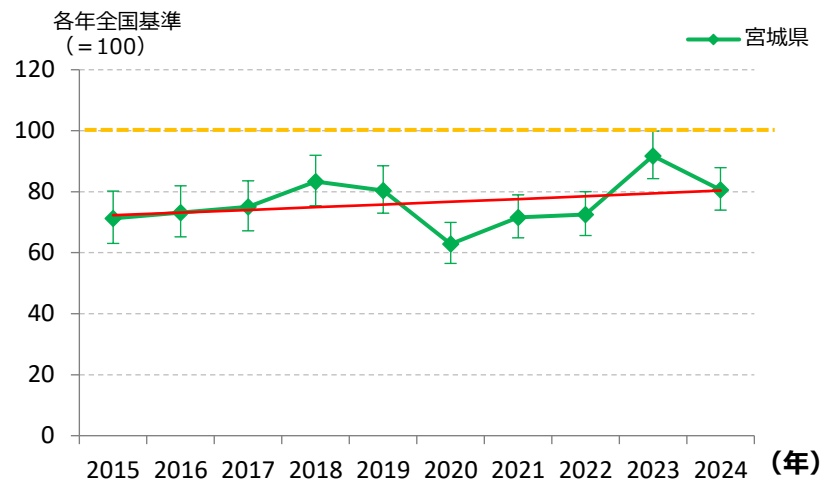
SMRの変化率：-23.4%/10年（トレンド* $p < 0.001$ ）

男性



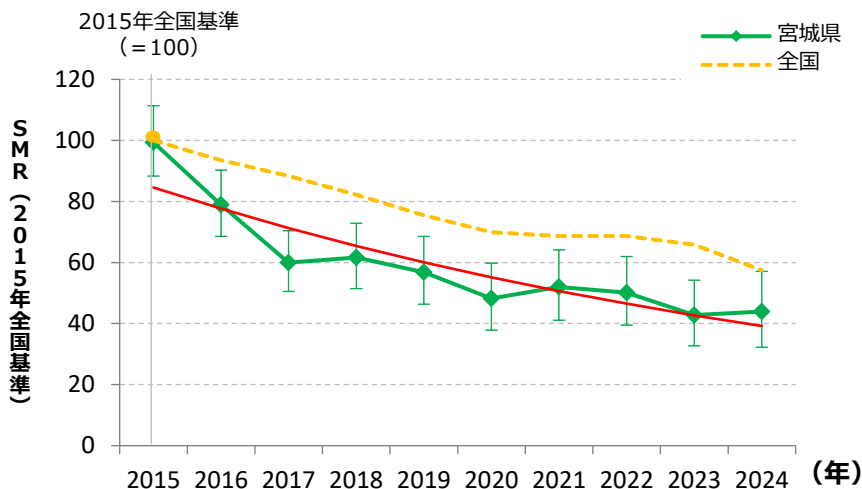
SMRの変化率：+12.5%/10年（トレンド* $p = 0.083$ ）

SMR (各年全国基準)



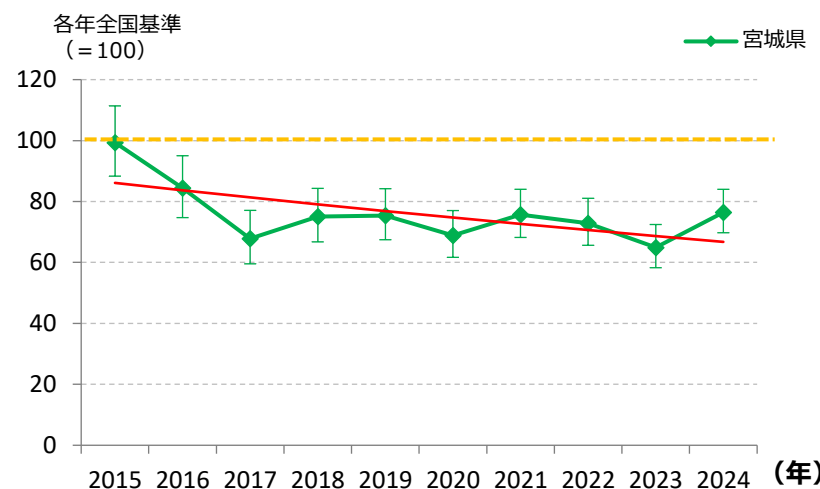
SMRの変化率：-57.4%/10年（トレンド* $p < 0.001$ ）

女性



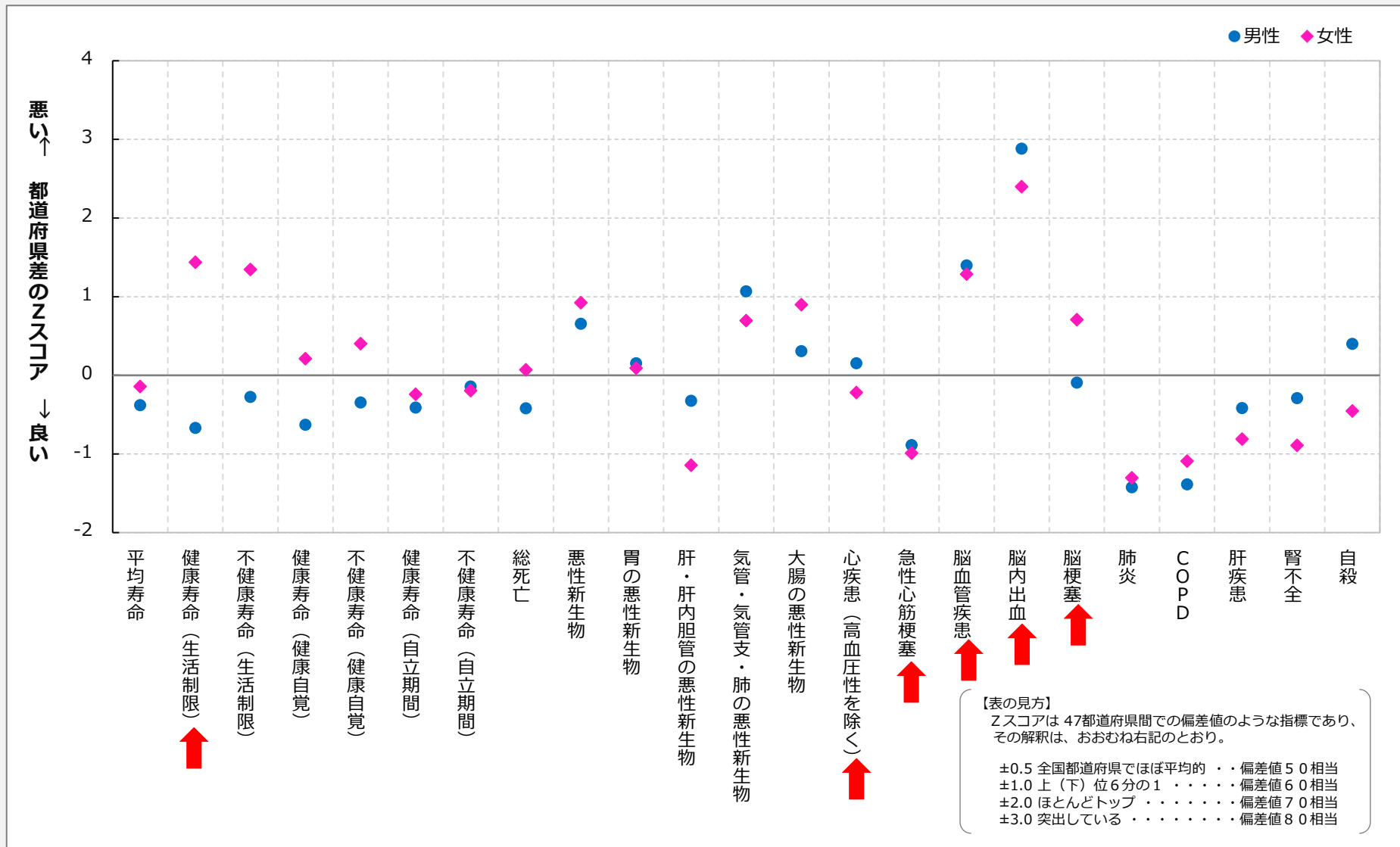
SMRの変化率：-24.6%/10年（トレンド* $p < 0.001$ ）

SMR (各年全国基準)



(参考) 死因別標準化死亡比 (Zスコア) (宮城県)

2022 (R4) 年 【宮城県】 平均寿命・健康寿命・死因別標準化死亡比の特徴要約



出典：地方自治体における生活習慣病関連の健康課題把握のための参考データ・ツール集
各種統計資料等からみた都道府県の健康状態の特徴要約「平均寿命、健康寿命、死因別年齢調整死亡率（令和4年）」
国立保健医療科学院生涯健康研究部



宮城県の現況

健康寿命

延伸の傾向はあるが、女性の値が全国値より低く、直近（R4）では前回調査（R1）を下回った。

脳血管疾患

年齢調整死亡率は減少傾向にあるが、男女ともに依然として全国値を上回っている。

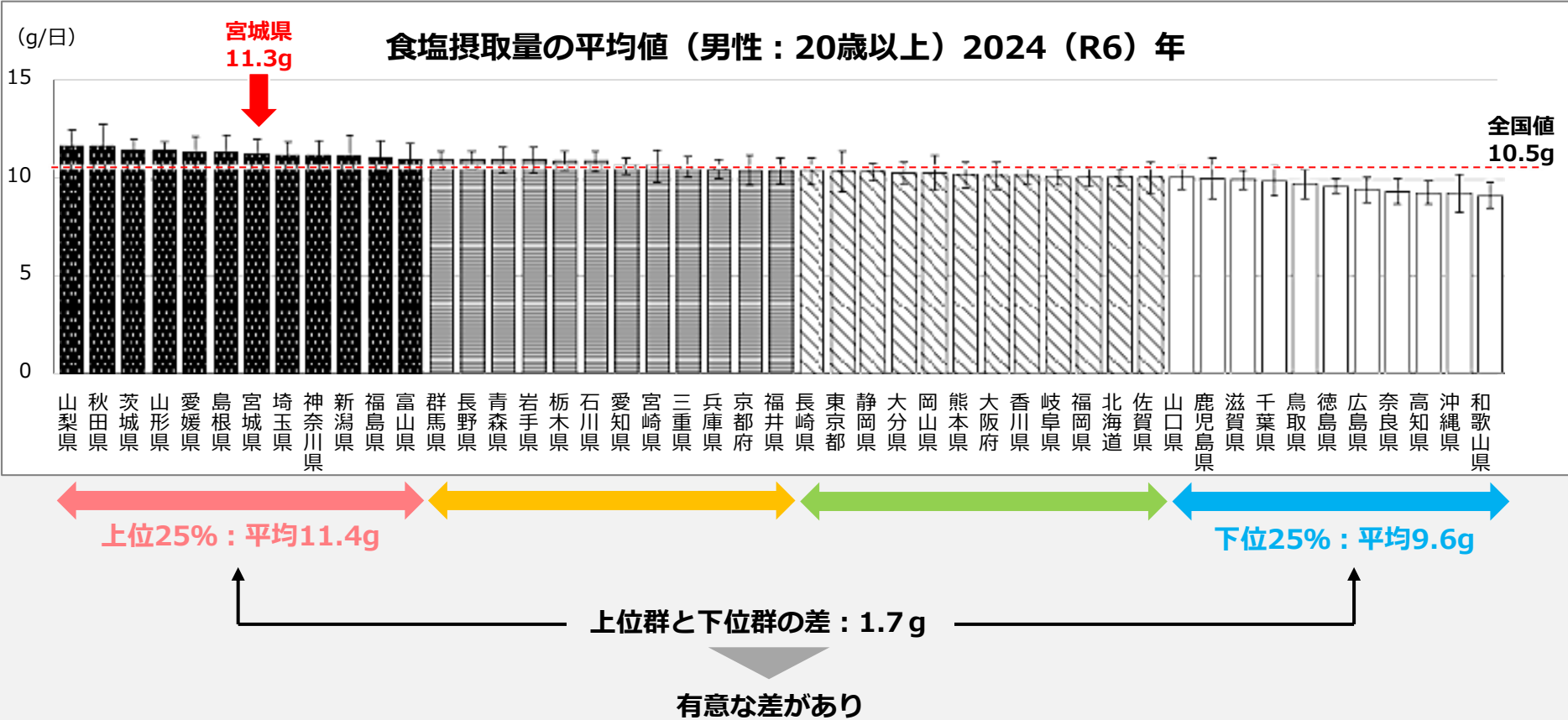
心疾患

年齢調整死亡率は減少傾向にあったが、近年、男女ともに横ばい傾向で、やや全国値を上回っている。

食塩摂取量（男性）

宮城県（男性）の1日の食塩摂取の平均値は、11.3 gと全国（10.5 g）より多く、**全国上位25%の区分**となっている。
（今回の調査結果から、都道府県順位は示していない）

男性	宮城県	全国
2016（H28）	11.9 g	10.8 g
2024（R6）	11.3 g	10.5 g
目標（2035（R17））	7.5 g 未満	



出典：厚生労働省 令和6年国民健康・栄養調査結果の概要（食塩摂取量の平均値）

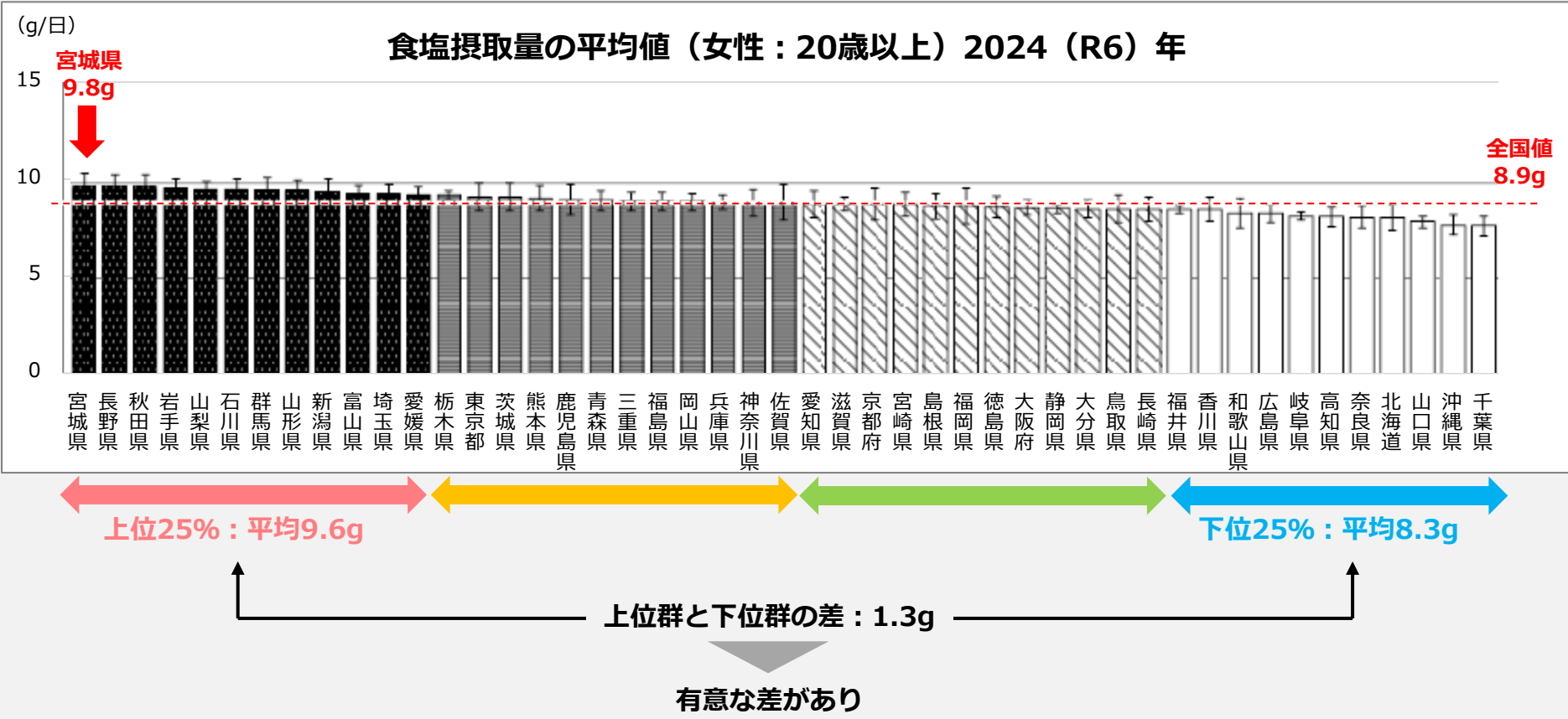
参考：以下、厚生労働省の説明（抜粋）

- ・都道府県別結果の集計に当たっては、年齢調整を行った。その際、集計対象項目の年齢区分における平均年齢に調整し、都道府県別の平均と割合を算出した。
- ・都道府県別結果を高い方から低い方に4区分に分け、上位（上位25%）群と下位（下位25%）群を設定し、上位群と下位群の差を確認した。
- ・都道府県順位は、以下の95%信頼区間の幅で示した程度の誤差変動があることから、示していない。
- ・多くの都道府県で得られた誤差率：4.3%（男性）、都道府県順位を設定した場合のその順位の95%信頼区間の幅の平均値±標準偏差：22.4 ± 7.2（男性）

食塩摂取量（女性）

宮城県（女性）の1日の食塩摂取の平均値は、9.8gと全国（8.9g）より多く、**全国上位25%の区分**となっている。
（今回の調査結果から、都道府県順位は示していない）

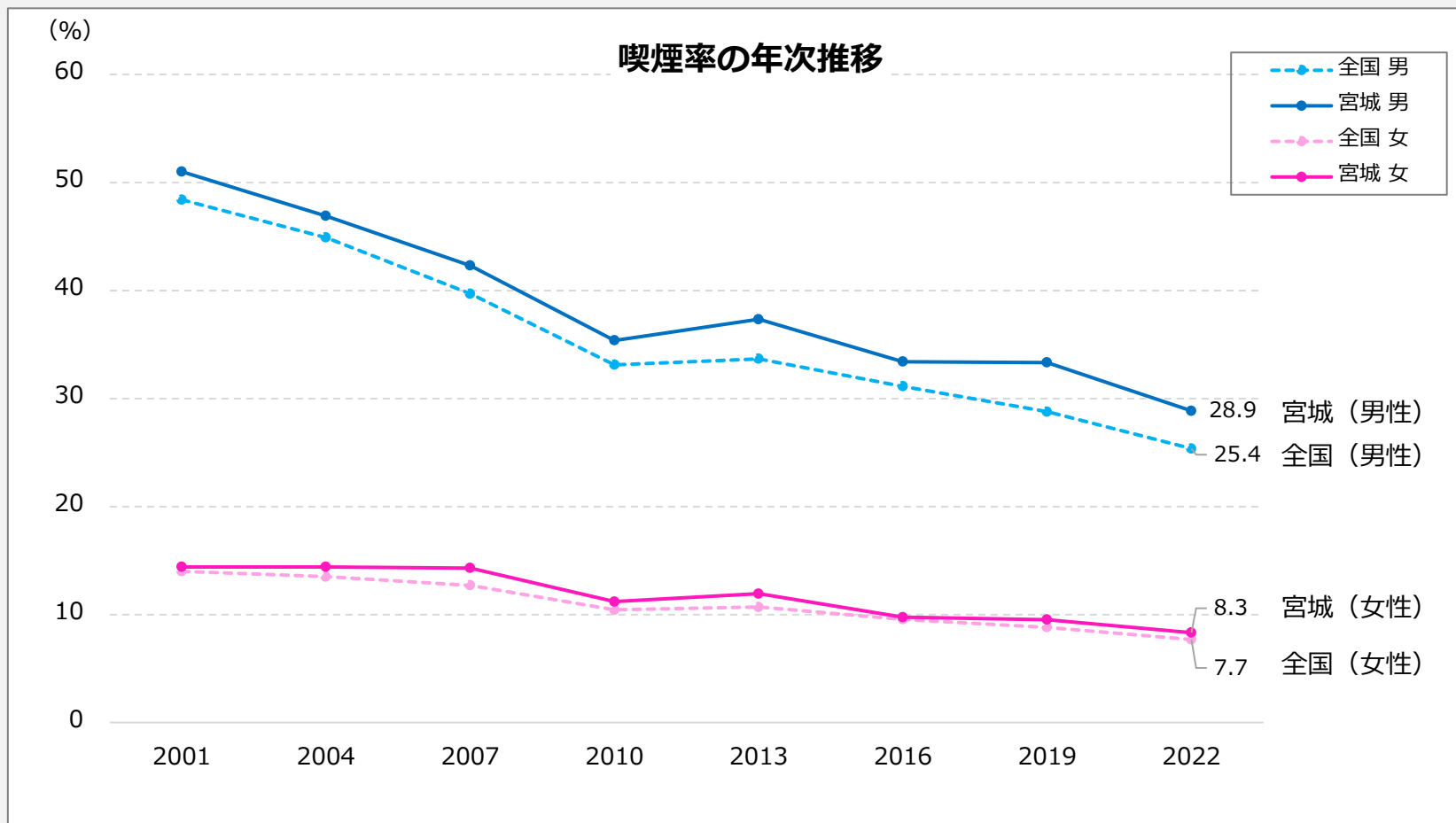
女性	宮城県	全国
2016（H28）	9.4 g	9.2 g
2024（R6）	9.8 g	8.9 g
目標（2035（R17））	6.5 g 未満	



出典：厚生労働省 令和6年国民健康・栄養調査結果の概要（食塩摂取量の平均値）
参考：以下、厚生労働省の説明（抜粋）

- ・都道府県別結果の集計に当たっては、年齢調整を行った。その際、集計対象項目の年齢区分における平均年齢に調整し、都道府県別の平均と割合を算出した。
- ・都道府県別結果を高い方から低い方に4区分に分け、上位（上位25%）群と下位（下位25%）群を設定し、上位群と下位群の差を確認した。
- ・都道府県順位は、以下の95%信頼区間の幅で示した程度の誤差変動があることから、示していない。
- ・多くの都道府県で得られた誤差率：4.2%（女性）、都道府県順位を設定した場合のその順位の95%信頼区間の幅の平均値±標準偏差：23.5 ± 8.9（女性）

喫煙率の年次推移（全国・宮城県）

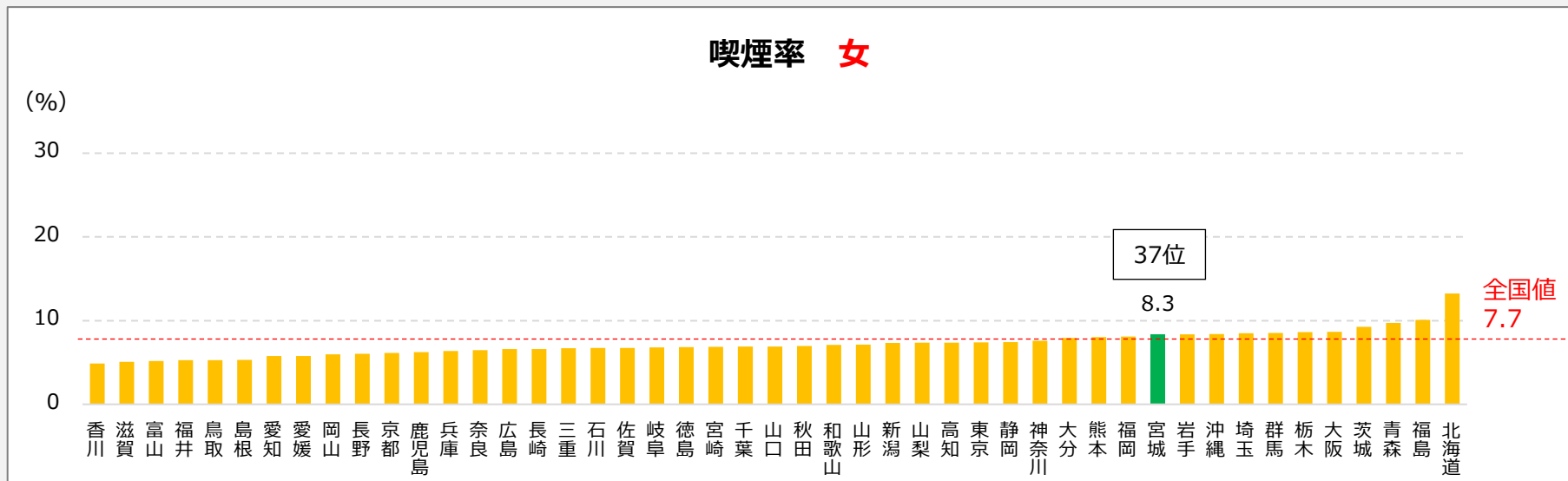
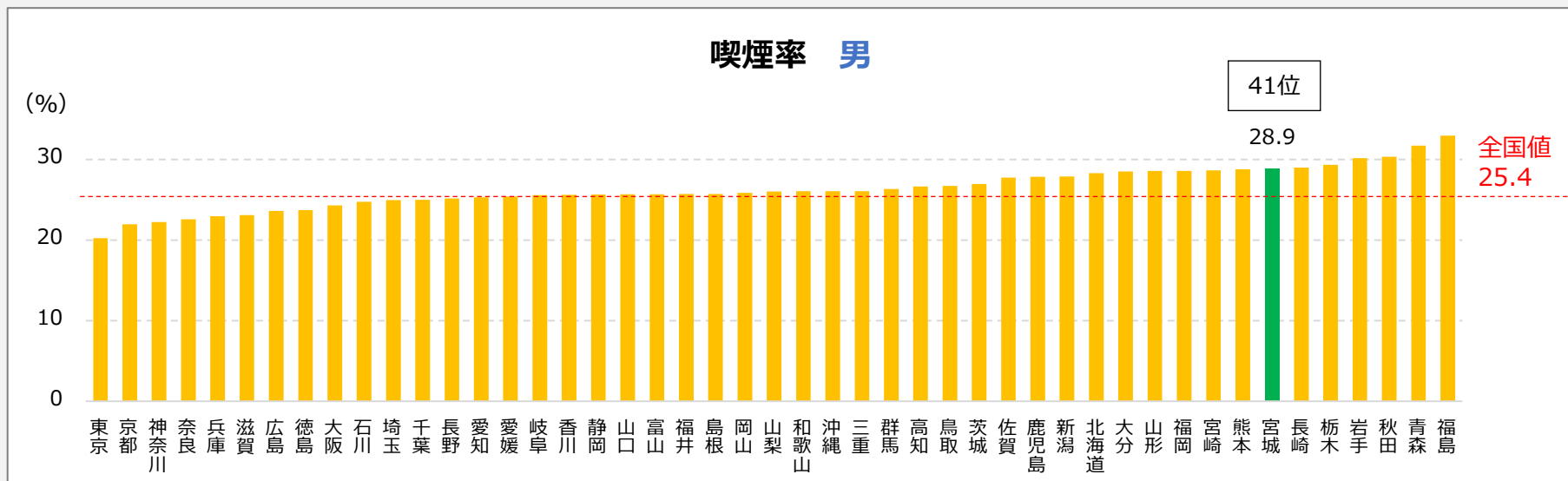


喫煙率 (%)		2001 (H13)	2004 (H16)	2007 (H19)	2010 (H22)	2013 (H25)	2016 (H28)	2019 (R1)	2022 (R4)
全国	男性	48.4	44.9	39.7	33.1	33.7	31.1	28.8	25.4
	女性	14.0	13.5	12.7	10.4	10.7	9.5	8.8	7.7
宮城県	男性	51.0	46.9	42.3	35.4	37.3	33.4	33.3	28.9
	女性	14.4	14.4	14.3	11.2	11.9	9.7	9.5	8.3

【目標値】
2035 (R17) 年まで
男性20%、女性4%

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」から県でグラフ化
国民生活基礎調査 都道府県別喫煙率（20歳以上「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」の割合）

(参考) 喫煙率の都道府県順位 2022 (R4) 年



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」から県でグラフ化

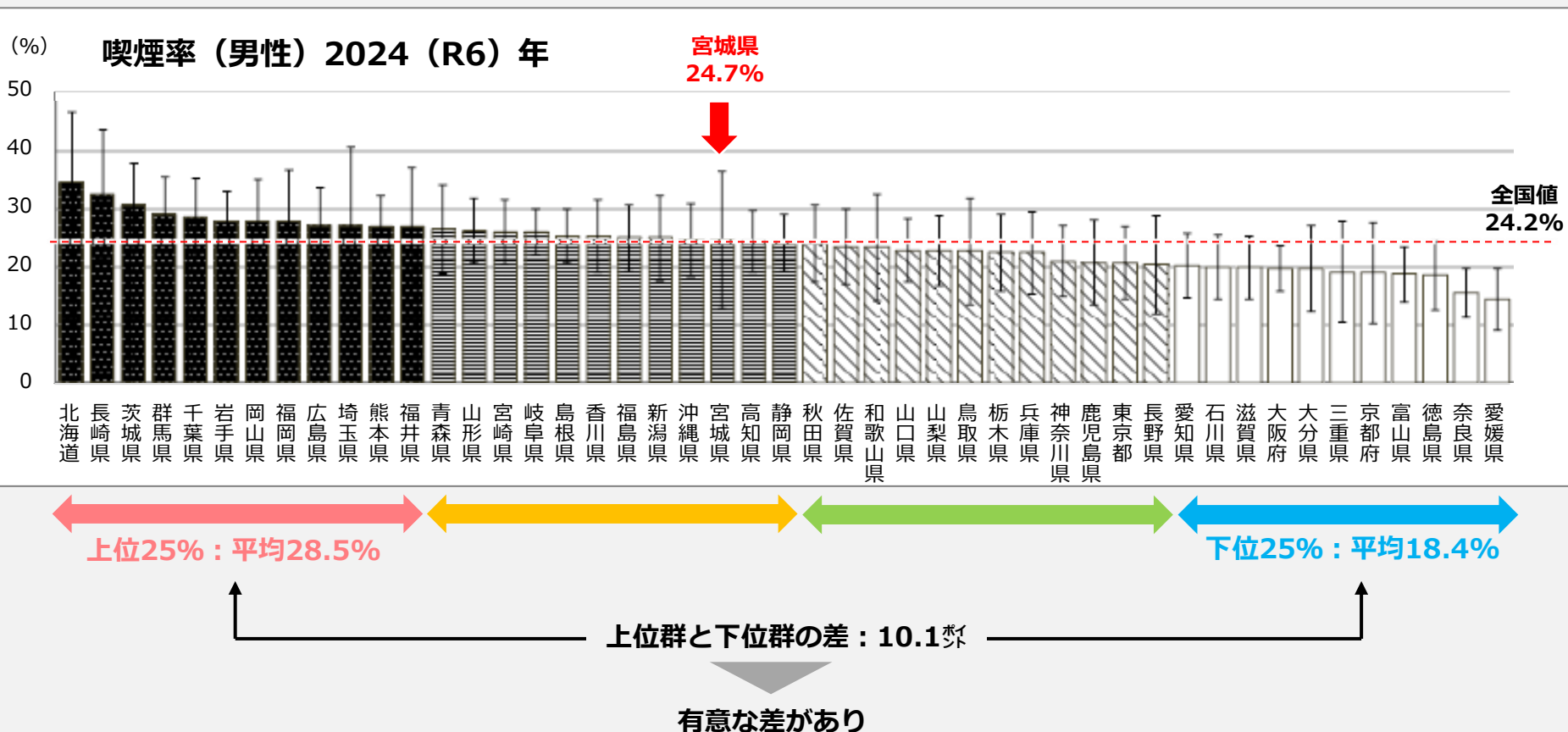
国民生活基礎調査 都道府県別喫煙率（20歳以上「毎日吸っている」または「時々吸う日がある」の割合）

現在習慣的に喫煙している者の割合

宮城県（男性）の現在習慣的に喫煙している者の割合は、24.7%と全国（24.2%）とほぼ同じ割合となっている。

（今回の調査結果から、都道府県順位は示していない）

（女性の割合は、誤差率が著しく高いため、地域格差の把握には適さないと判断され公表されていない）



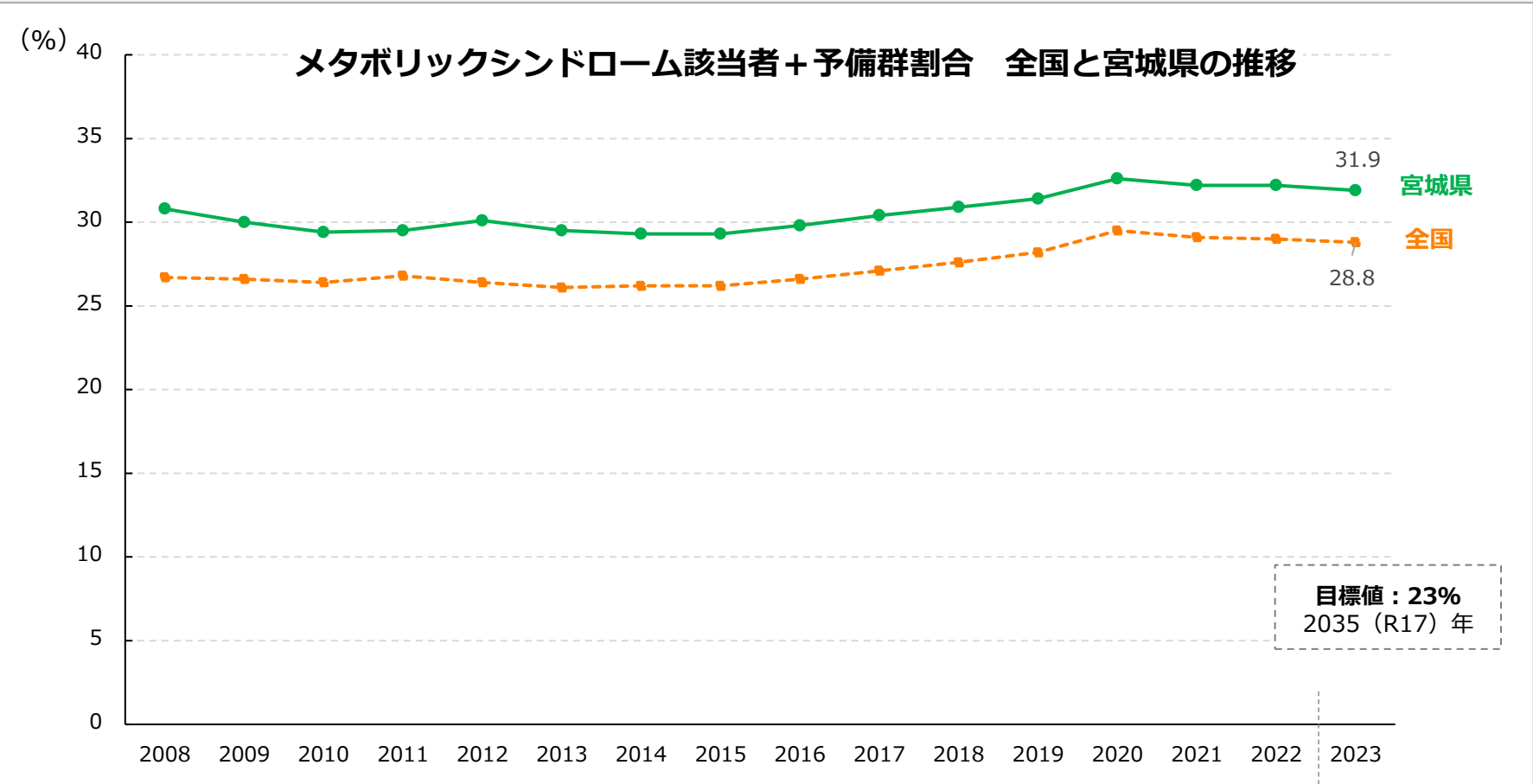
出典：厚生労働省 令和6年国民健康・栄養調査結果の概要（現在習慣的に喫煙している者の割合）

参考：以下、厚生労働省の説明（抜粋）

- ・都道府県別結果の集計に当たっては、年齢調整を行った。その際、集計対象項目の年齢区分における平均年齢に調整し、都道府県別の平均と割合を算出した。
- ・都道府県別結果を高い方から低い方に4区分に分け、上位（上位25%）群と下位（下位25%）群を設定し、上位群と下位群の差を確認した。
- ・都道府県順位は、以下の95%信頼区間の幅で示した程度の誤差変動があることから、示していない。
- ・多くの都道府県で得られた誤差率：20.0%（男性）、都道府県順位を設定した場合のその順位の95%信頼区間の幅の平均値±標準偏差：32.0 ± 7.5（男性）

(余白)

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）割合 年次推移



宮城県は、統計開始以来、ワースト2位又は3位

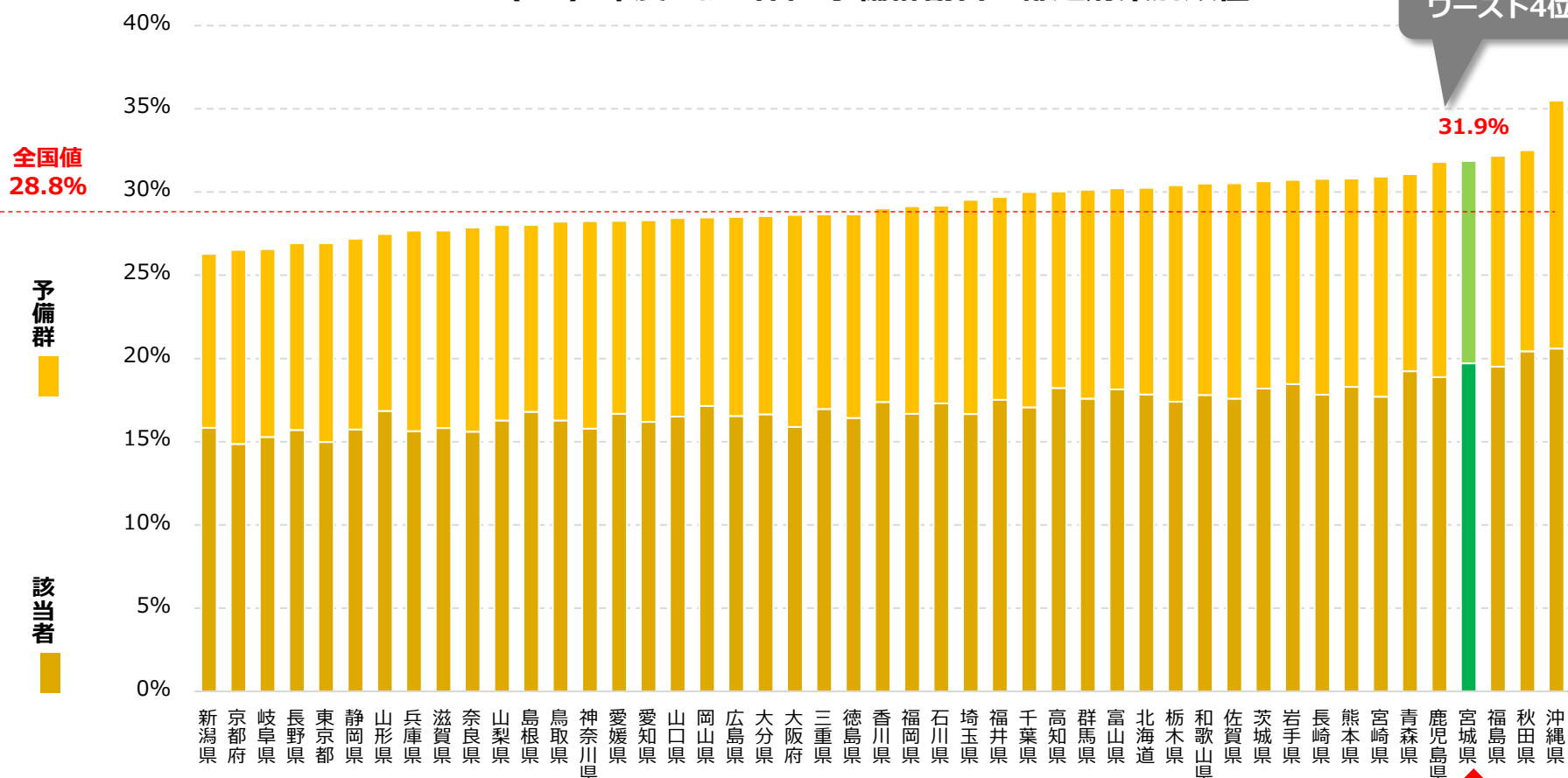
ワースト
4位

割合 (%)	2008 (R20)	2009 (R21)	2010 (R22)	2011 (R23)	2012 (R24)	2013 (R25)	2014 (R26)	2015 (R27)	2016 (R28)	2017 (R29)	2018 (R30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
全国	26.7	26.6	26.4	26.8	26.4	26.1	26.2	26.2	26.6	27.1	27.6	28.2	29.5	29.1	29.0	28.8
宮城県	30.8	30.0	29.4	29.5	30.1	29.5	29.3	29.3	29.8	30.4	30.9	31.4	32.6	32.2	32.2	31.9
ワースト順位	2位	2位	2位	2位	2位	2位	3位	3位	3位	2位	2位	2位	2位	2位	3位	4位

出典：厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」（医療保険者から国に報告された特定健康診査・特定保健指導の実施結果を集計）
上記グラフは、宮城県がメタボリックシンドローム該当者割合と予備群割合を合計し作成したもの。

メタボリックシンドローム割合 都道府県順位

2023（R5）年度 該当者+予備群割合 都道府県別順位



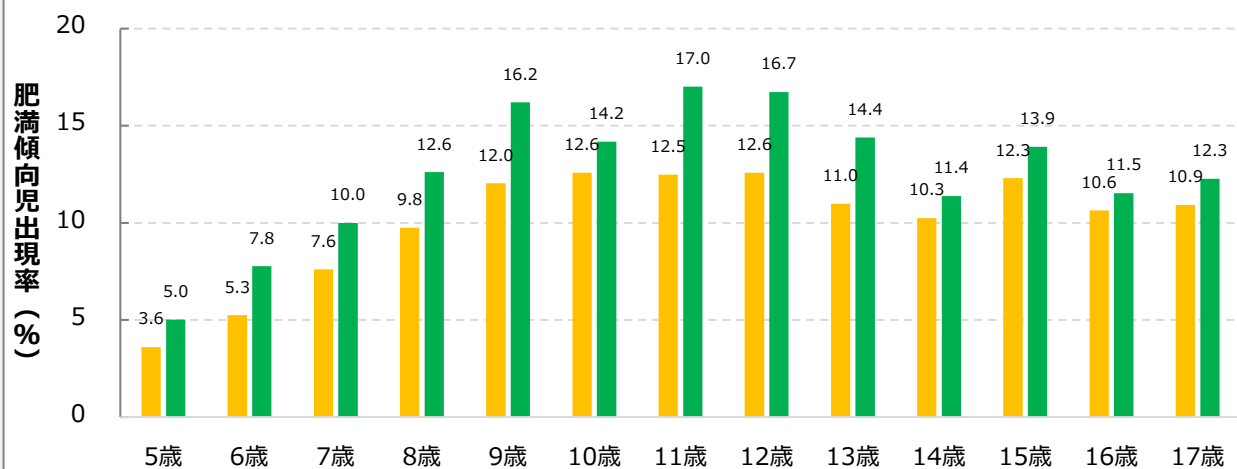
全国より悪い

出典：厚生労働省 「特定健康診査・特定保健指導に関するデータ」（医療保険者から国に報告された特定健康診査・特定保健指導の実施結果を集計）
上記グラフは、宮城県がメタボリックシンドローム該当者割合と予備群割合を合計し作成したもの。

参考：宮城県のデータ 特定健康診査受診者数 : 625,756人
メタボリックシンドローム該当者数 : 123,337人 (19.7%)
メタボリックシンドローム予備群者数 : 76,085人 (12.2%)

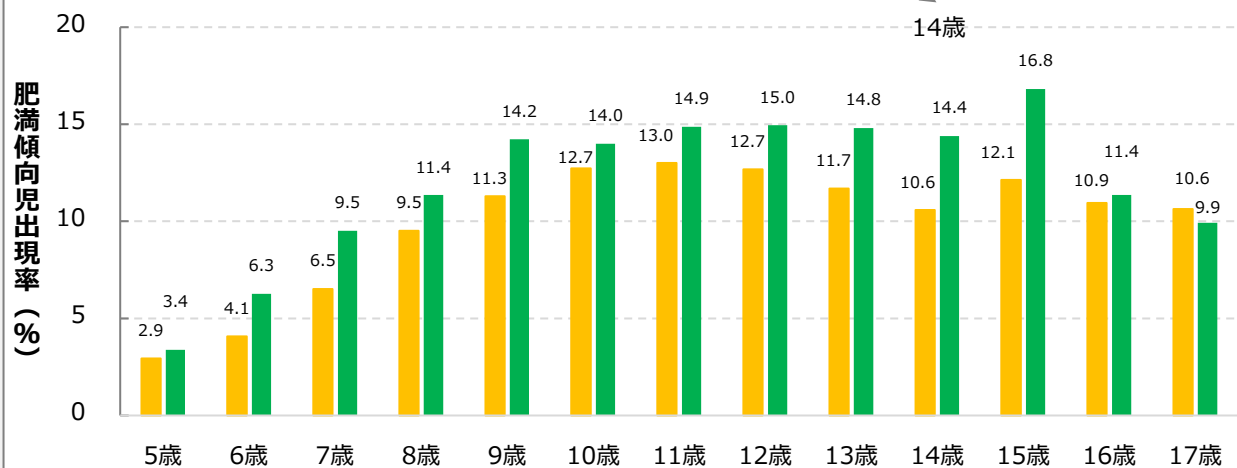
肥満傾向児の出現率（男子）

2021（R3）年 男子



3年後

2024（R6）年 男子



肥満傾向児の出現率（男子）
2024（R6）年 宮城県と全国

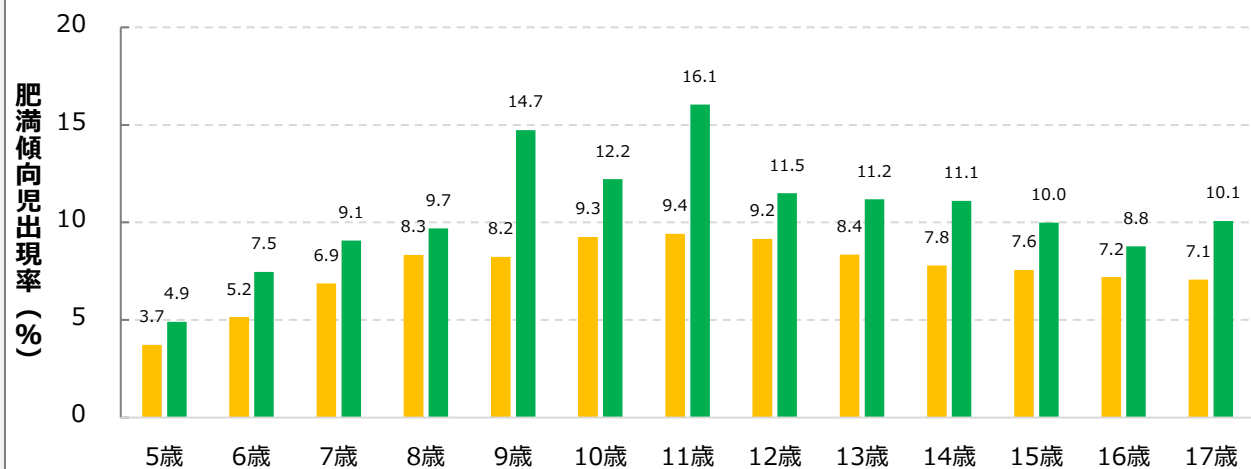
区 分 (%)		男 子				R6年 ワースト 順位
		宮城県	全国値	差		
		(a)	(b)	(a-b)		
幼稚園						
	5 歳	3.38	2.94	0.44	12	
小学校						
1	6 歳	6.26	4.07	2.19	6	
2	7 歳	9.52	6.52	3.00	3	
3	8 歳	11.36	9.51	1.85	13	
4	9 歳	14.22	11.30	2.92	6	
5	10歳	14.00	12.73	1.27	18	
6	11歳	14.87	13.00	1.87	14	
中学校						
1	12歳	14.95	12.68	2.27	6	
2	13歳	14.81	11.69	3.12	3	
3	14歳	14.40	10.58	3.82	4	
高等学校						
1	15歳	16.82	12.13	4.69	7	
2	16歳	11.36	10.94	0.42	23	
3	17歳	9.93	10.63	△ 0.70	29	

参考：肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者を言います。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

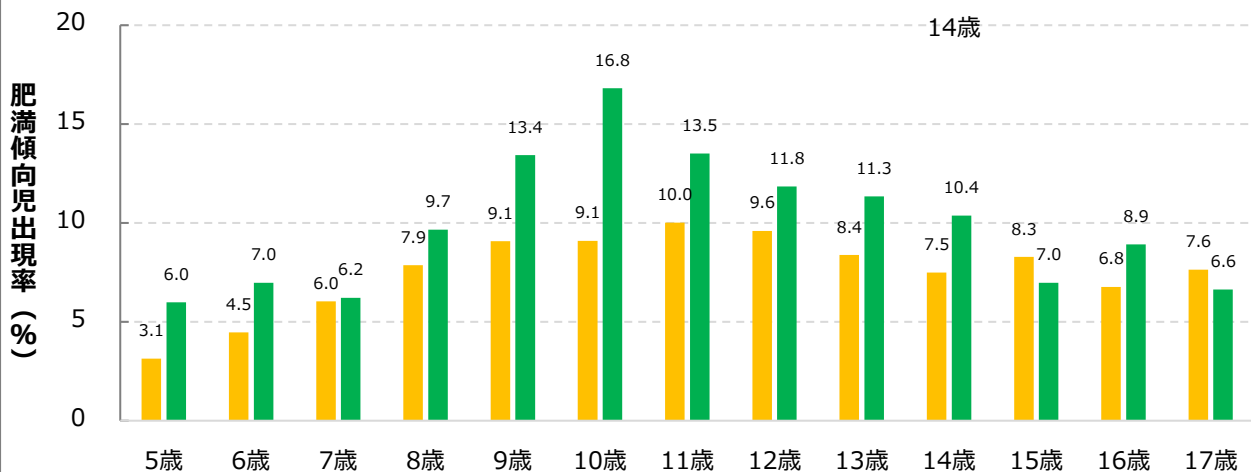
肥満傾向児の出現率（女子）

2021（R3）年 女子



3年後

2024（R6）年 女子



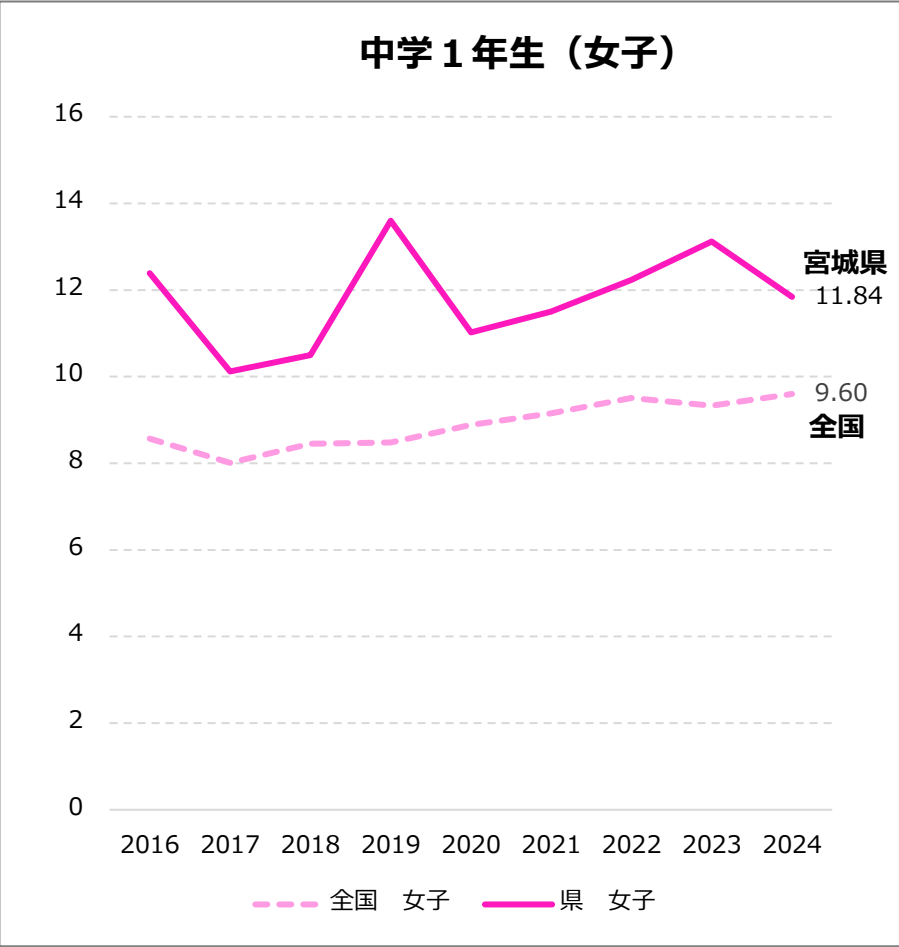
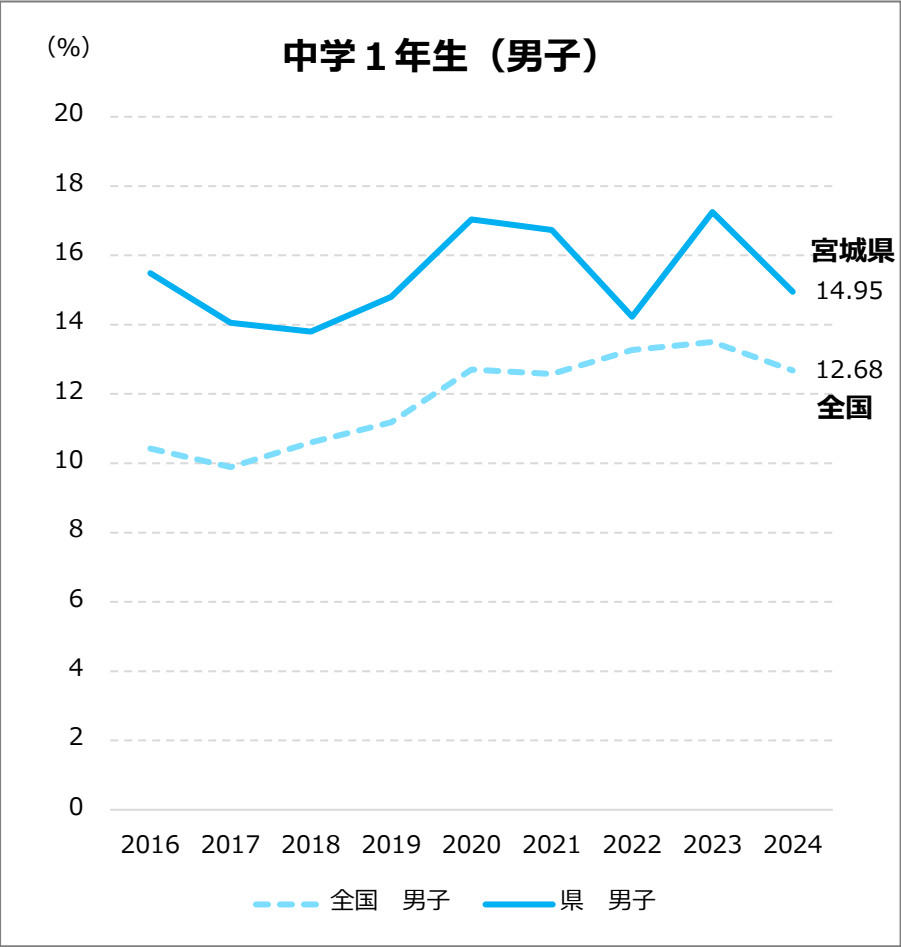
肥満傾向児の出現率（女子）
2024（R6）年 宮城県と全国

区 分 (%)		女 子				R6年 ワ-スト 順位
		宮城県	全国値	差		
		(a)	(b)	(a-b)		
幼稚園						
	5 歳	5.99	3.14	2.85	3	
小学校						
1	6 歳	6.97	4.47	2.50	7	
2	7 歳	6.22	6.03	0.19	24	
3	8 歳	9.66	7.86	1.80	13	
4	9 歳	13.43	9.08	4.35	4	
5	10歳	16.82	9.10	7.72	1	
6	11歳	13.52	10.02	3.50	7	
中学校						
1	12歳	11.84	9.60	2.24	13	
2	13歳	11.34	8.38	2.96	6	
3	14歳	10.38	7.49	2.89	2	
高等学校						
1	15歳	6.97	8.28	△ 1.31	36	
2	16歳	8.91	6.77	2.14	12	
3	17歳	6.64	7.64	△ 1.00	34	

参考：肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者を言います。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)

中学一年生の肥満傾向児の出現率（年次推移）

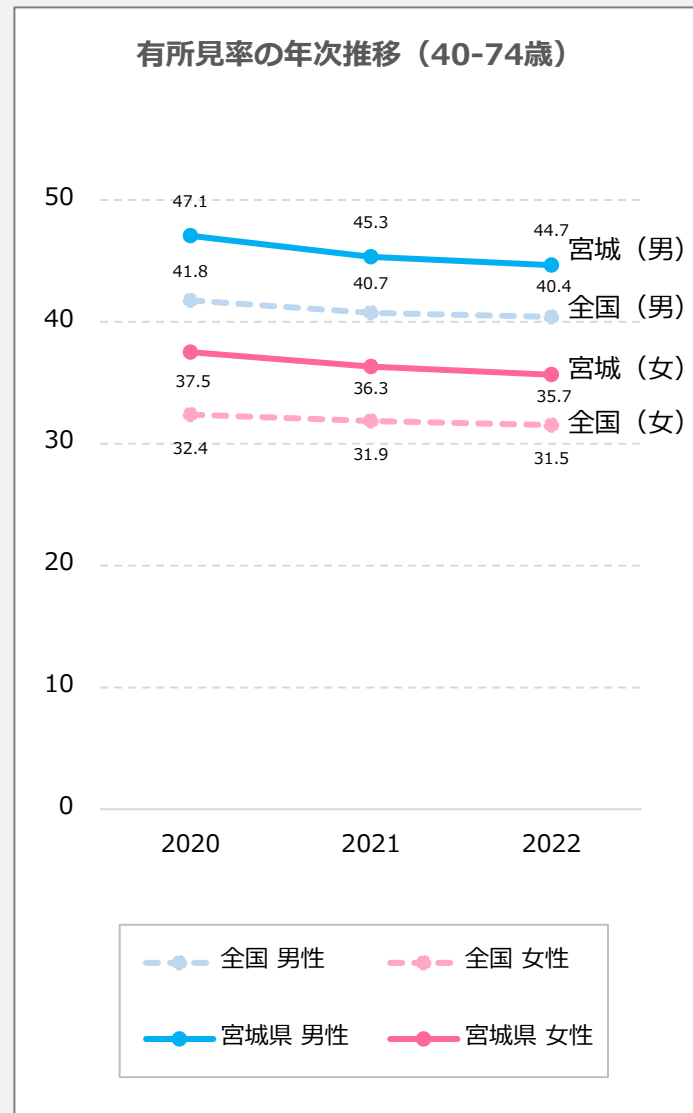
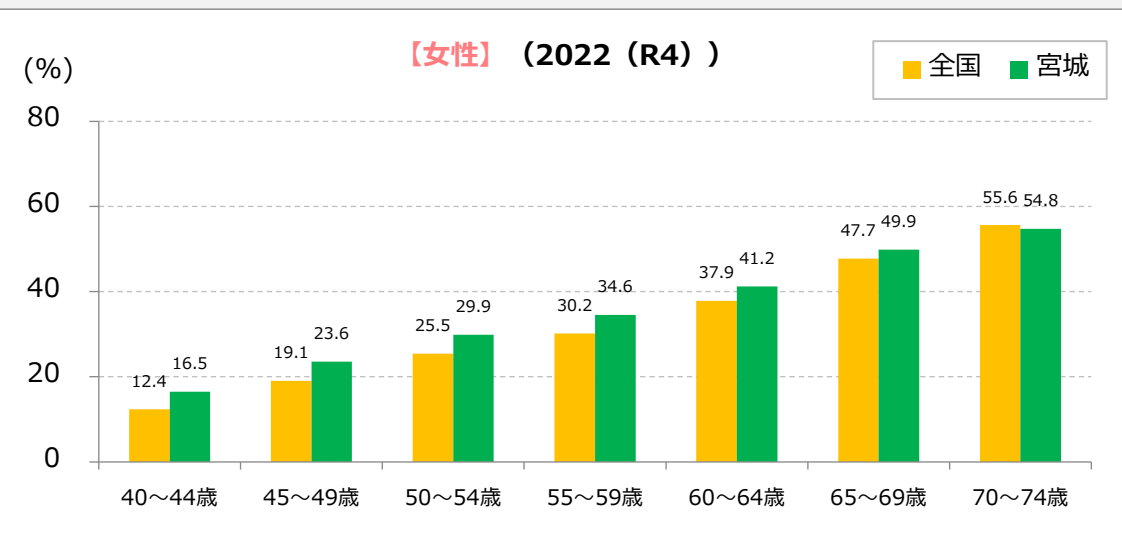
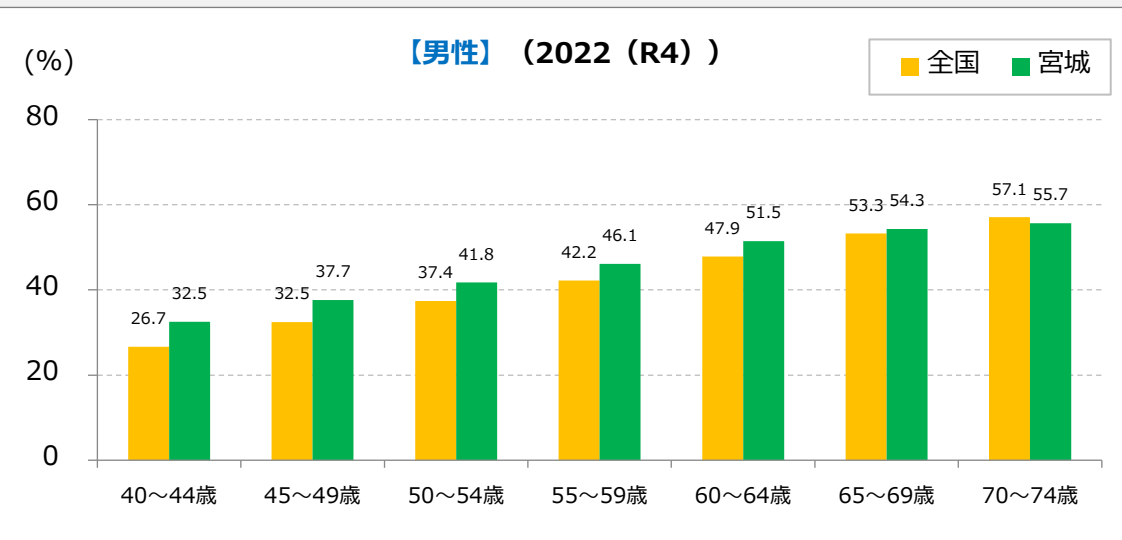


年度／出現（％）		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
全国	男子	10.42	9.89	10.60	11.18	12.71	12.58	13.27	13.50	12.68
	女子	8.57	8.01	8.45	8.48	8.89	9.15	9.51	9.33	9.60
県	男子	15.49	14.05	13.80	14.80	17.04	16.73	14.23	17.25	14.95
	女子	12.39	10.12	10.50	13.60	11.02	11.50	12.23	13.12	11.84

(余白)

高血圧 年齢階級別有所見率（全国、宮城県）

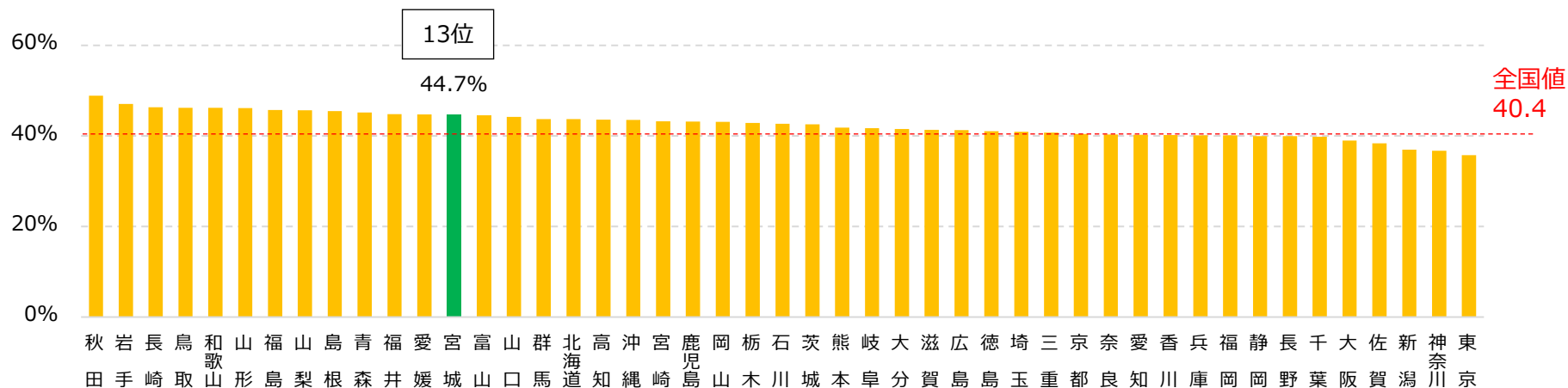
収縮期血圧：130mmHg以上 年齢階級別有所見率（全国、県）2022年度



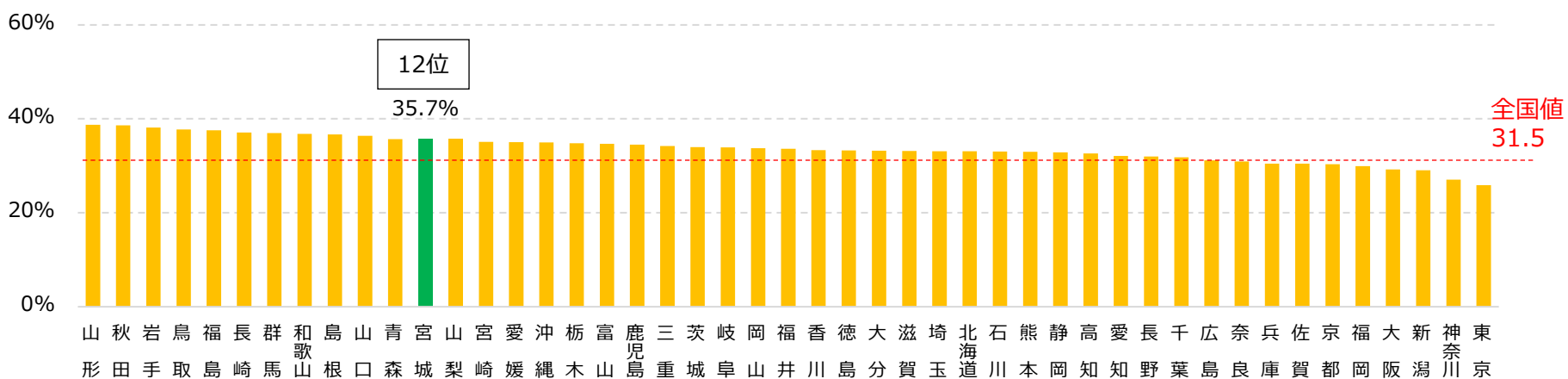
高血圧（都道府県順位）

収縮期血圧：130mmHg以上 年齢階級別有所見率 2022年 40-74歳計

男性

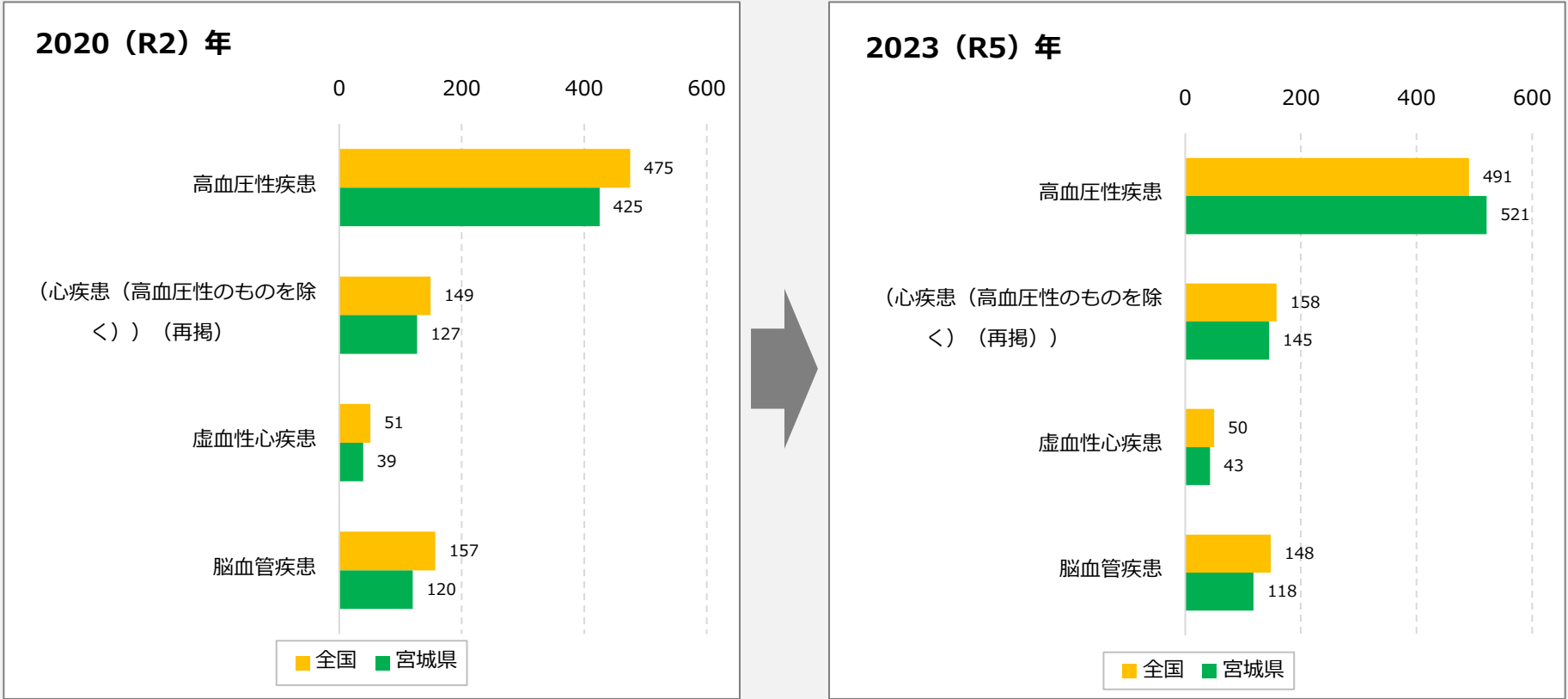


女性



循環器系の疾患の受療率（全国、宮城県）

受療率（人口10万対）（全国、県）2020年，2023年（3年毎に調査）男女計・入院外来計

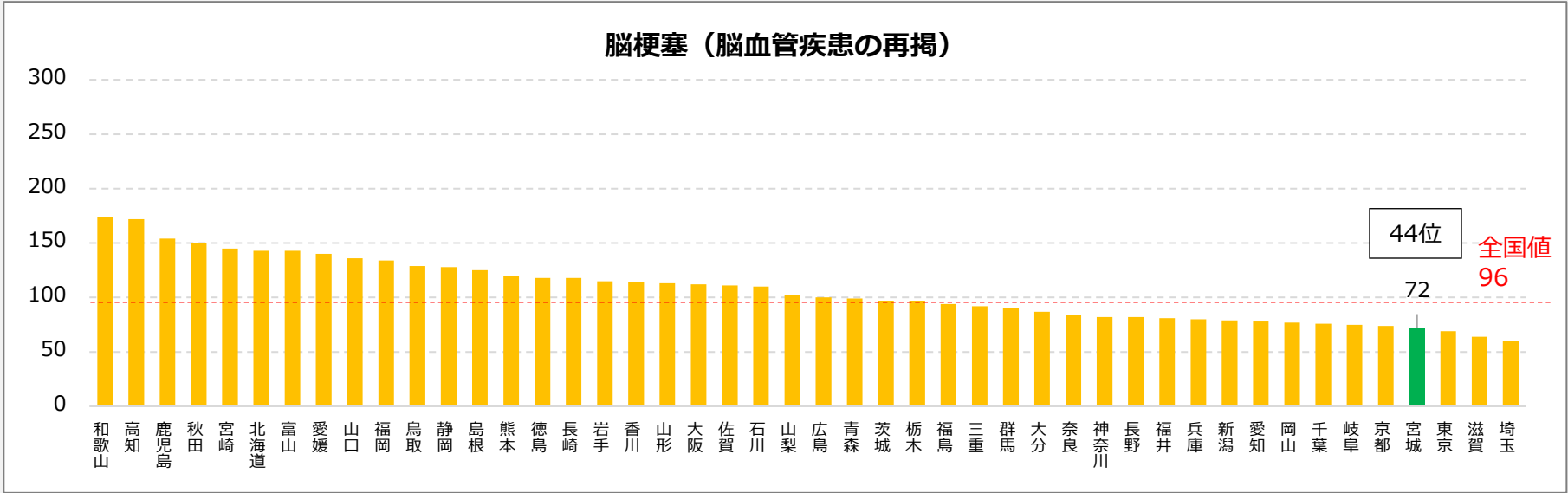
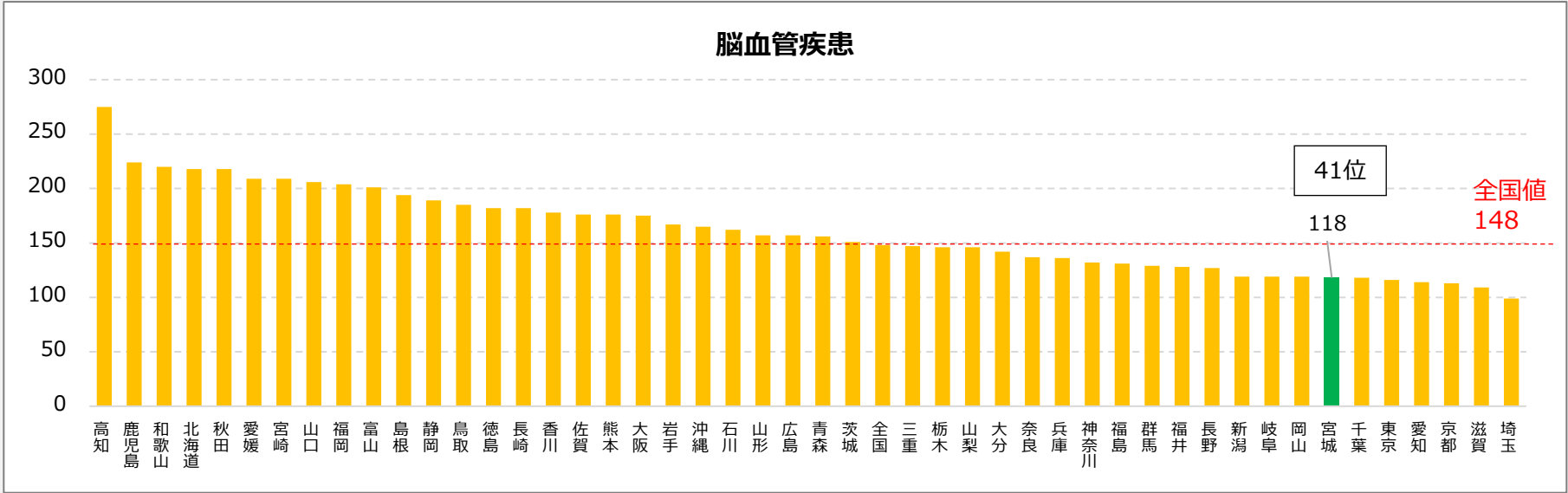


受療率（人口10万対）	2020（R2）						2023（R5）					
	全国			宮城県			全国			宮城県		
	総計	入院	外来	総計	入院	外来	総計	入院	外来	総計	入院	外来
高血圧性疾患	475	4	471	425	2	423	491	3	488	521	2	519
（心疾患（高血圧性のものを除く））（再掲）	149	46	103	127	44	83	158	46	112	145	41	104
虚血性心疾患	51	9	42	39	11	28	50	8	42	43	9	34
脳血管疾患	157	98	59	120	73	47	148	88	60	118	68	50

受療率：推計患者数（調査当日に医療施設で受療した患者の推計数）を人口10万対であらわした数
出典：厚生労働省 患者調査（受療率（人口10万対），入院－外来（初診－再来）・施設の種類×傷病大分類×都道府県別）

脳血管疾患の受療率（都道府県順位）

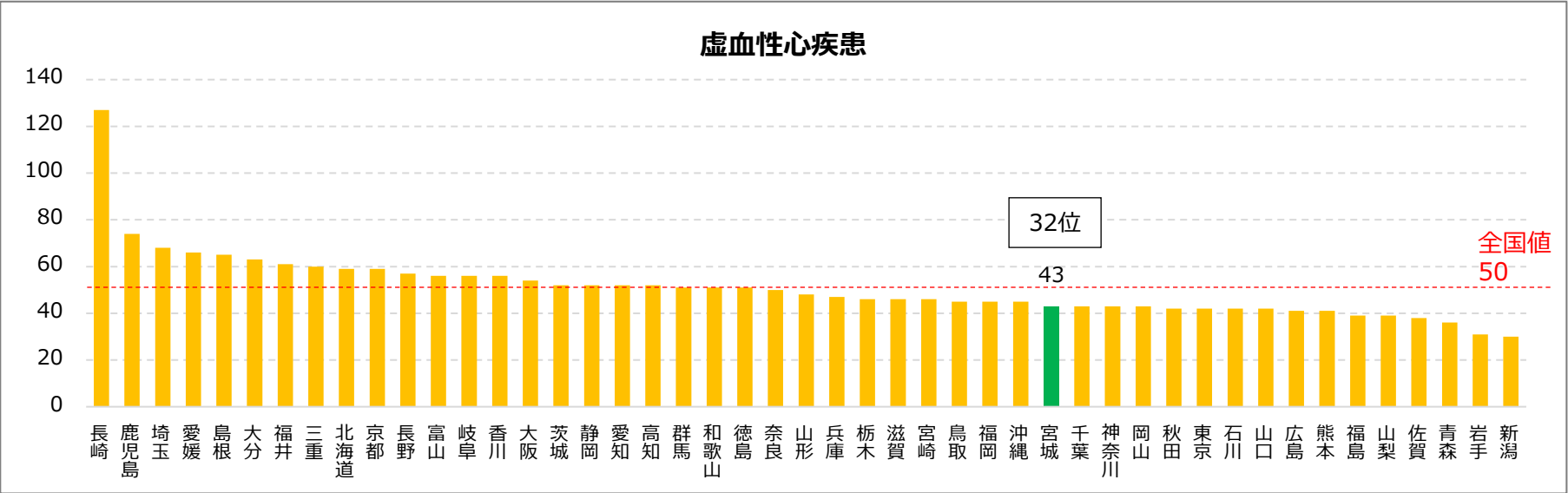
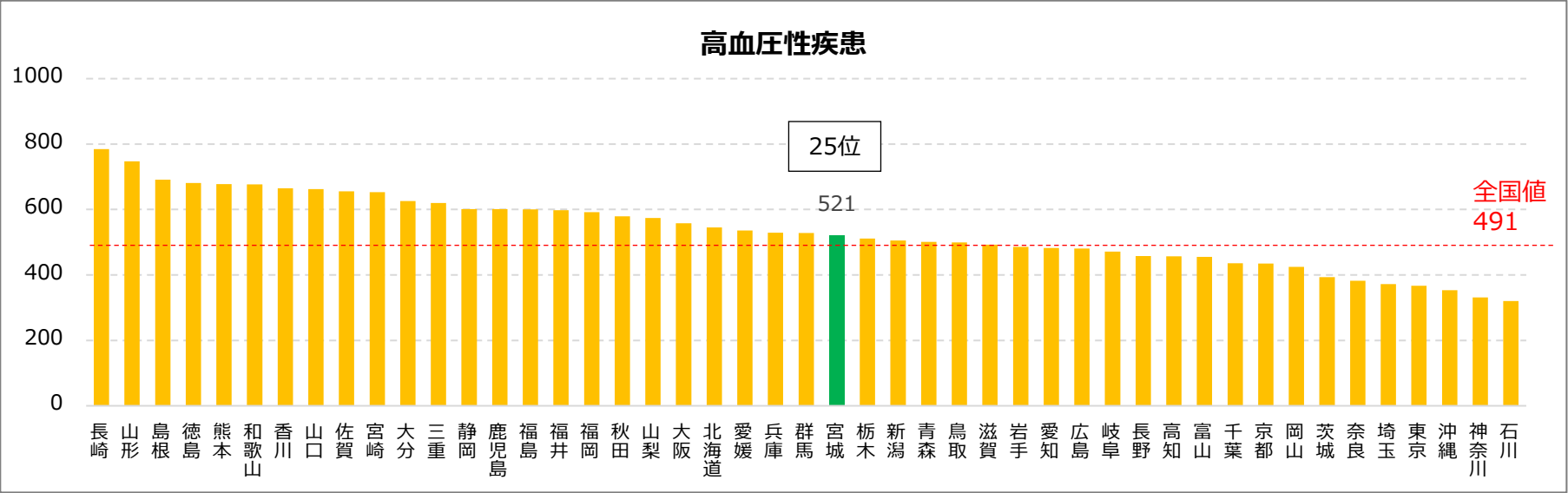
受療率（人口10万対）2023（R5）年 男女計・入院外来計



受療率：推計患者数（調査当日に医療施設で受療した患者の推計数）を人口10万対であらわした数
出典：厚生労働省 患者調査（受療率（人口10万対）、入院－外来（初診－再来）・施設の種類×傷病大分類×都道府県別）

心疾患の受療率（都道府県順位）

受療率（人口10万対）2023（R5）年 男女計・入院外来計



受療率：推計患者数（調査当日に医療施設で受療した患者の推計数）を人口10万対であらわした数
出典：厚生労働省 患者調査（受療率（人口10万対），入院－外来（初診－再来）・施設の種類×傷病大分類×都道府県別）



宮城県の現況

塩分摂取量、喫煙率

塩分摂取量は、男女ともに全国値より高い（上位区分）。
喫煙率は、減少傾向にあるが、全国値よりやや高い。

メタボリックシンドローム該当者＋予備群割合

依然として全国値を上回っていて、かつワースト上位の順位が続いている。

肥満傾向児の出現率

男子は16歳以下、女子は14歳以下の全年齢で、全国値より高い。

高血圧有所見率

減少傾向にあるが、70歳未満の各年代で、全国値より高い。